

令和 7 年度(第 88 回)通常総会資料

日時 令和 7 年 2 月 18 日(火曜日) 10:30～11:45
 場所 東京都千代田区一ツ橋 2-1-1
 如水会館 2 階 オリオンルーム

	頁
【監査報告】	1
【令和 6 年度の総括と令和 7 年度の目標】	2
【決議事項】	
第 1 号議案 令和 6 年度決算報告承認の件 定款第 39 条第 1 項および第 2 項	3
第 2 号議案 令和 7 年度役員選任の件 定款第 23 条	10
第 3 号議案 定款変更の件 定款第 41 条	11
第 4 号議案 名誉会員委嘱の件 定款第 5 条第 5 項	12
【報告事項】	
報告 1 令和 6 年度事業報告 定款第 39 条第 1 項および第 2 項	13
1. 令和 6 年度通常総会報告	13
2. 会員動向報告	13
3. 事業報告(公 1 :編集出版事業)	14
4. 事業報告(公 2:研究会事業)	14
5. 事業報告(公 3:表彰事業)	14
6. 事業報告(他 1:共益事業)	14
報告 2 令和 7 年度事業計画 定款第 38 条	29
報告 3 令和 7 年度収支予算 定款第 38 条	32
報告 4 永年会員認定者 定款第 5 条第 4 項	35
【参考資料】 (付表 1) 令和 6 年度一般正味財産の構成表	36



公益社団法人 有機合成化学協会

令和 7 年 2 月 18 日

担当者	事務局長	会 長

【監査報告】

監査報告書

私たち監事は、令和6年1月1日から令和6年12月31日までの事業年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和7年1月16日

公益社団法人有機合成化学協会

監事 家田 成

家田 成 

公益社団法人有機合成化学協会

監事 千田 憲孝

千田 憲孝 

公益社団法人有機合成化学協会

監事 古内 剛

古内 剛 

以上

令和 6 年度の総括と令和 7 年度の目標

令和 6 年度における各事業の概要、法人管理・運営状況と令和 7 年度の目標について説明する。

【令和 6 年度の課題と取り組み】

本部・支部事業ともに全事業を実施し、対面開催に関しては新型コロナウイルス前の状態に戻すことができた。

通常総会は、会場参加形式で実施、併催事業（表彰式、受賞記念講演）は前年と同様、会場参加とオンラインを併用して実施。終了後は、昨年はまだコロナ禍のために茶話会形式だったが、今回は立食懇親会形式とし、参加者同士の交流の場としてご活用頂いた。

会長と支部幹事との直接対話の機会となる「支部キャラバン」は東北、関東、九州・山口の 3 支部で実施した。また、1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震に対し、被災された方々への支援として、福井県、石川県、富山県、新潟県に在住の普通会員（個人）、シニア会員、学生会員に対し、1 年間の会費免除を実施した。

【編集・出版事業】

有機合成化学協会誌は予定通り 12 号を刊行した。特集号について、5 月号では「分子設計・編集・合成化学のイノベーション」と題し 11 編の総合論文を、11 月英文特集号では 9 編の総合論文をそれぞれ掲載した。協会誌の特集広告は前年と同じく「受託合成」、「クロマトグラフィー関連」を取り上げた。

さらに、J-STAGE に公開済みの総合論文などから、特定の分野や反応などをピックアップして紹介する「オンライン特集号（Spotlight Archives）」を企画し、10 月に「有機触媒化学：黎明期の研究から最新の成果まで」および「有機電解反応/合成」を公開した。

【研究会事業】

予定事業をすべて実施できた。その主なものを以下に紹介する。

◆「有機合成シンポジウム」は、春季（第 124 回）は北海道大学鈴木章ホールで、秋季（第 125 回）は早稲田大学国際会議場で、それぞれ実施した。

◆「有機合成化学講習会」はこれまで有機合成の基礎から最新の知見までを「講義する」スタイルだったが、今回は趣向を変え「企業における有機合成化学：理念・製品化・ブレイクスルー」をテーマに掲げ、「有機合成化学がいかにして製品化や高収益化に結びついているの

か？」、「企業はどのような理念で研究に挑み、困難を克服しているのか？」について産業界側から情報提供を行うという内容で実施した。

◆「A I 研究部会」は講演会形式、講習会形式で勉強会を 1 回ずつ実施、さらに公開講演会を 4 年ぶりに実施した。

「ニューモダリティ研究部会」は勉強会 2 回を実施し、うち 1 回は東北大学で次世代放射光施設「ナノテラス」の見学会を入れた勉強会とした。さらに公開講演会を大阪で実施した。

◆「第 40 回有機合成化学セミナー（関東支部主催）」は、Mukaiyama Award、Lectureship、有機合成化学奨励賞の各受賞講演と、招待講演、ポスターセッション（84 件）と、会期中にエクスカージョンを組み込んで 9 月に実施した。

その他、本部、支部主催の各事業は対面、ハイブリッド、オンラインの各形式で状況に応じて実施した。

【表彰事業】

令和 6 年度も本会の表彰が揃い、内容的に非常に高いレベルを維持した。特別賞、協会賞、奨励賞の 3 賞、高砂香料国際賞「野依賞」、研究企画賞、Mukaiyama Award、Lectureship 各賞の選考を例年通り実施した。企業冠賞は 3 賞の実施となった。

【相互交流】

ゆうどう会は昨年と同様、実施できなかった。

一方、新春特別フォーラムは 2 月に閉館となった山の上ホテルで最後の賀詞交歓会を実施した。

中堅若手リーダーのための YUGOKAFe ではグループ討論会にさらなる工夫を凝らすなどして、情報交換会も含めて、参加者間の交流に大いに役立った。

【財務環境】

令和 6 年度は▲12.0 百万円の収支予算を組んだが、収益 115.9 百万円、費用 126.9 百万円、収支▲10.9 百万円となった。

【令和 7 年度目標】

「本会における今後新しい活動」に向けて理事会で協議を続けてきた。具体的なビジョンを選定し、これを推進していく。本会ならではの対面のメリットを前面に出す活動は引き続き展開していく。また、協会の魅力をより高めるための活動を本部、支部ともに取り組み、さらなる活性化を図っていきたいと考えている。

【決議事項】

第1号議案 令和6年度決算報告承認の件

定款39条第1項および第2項に定めるところにより、令和7年1月度理事会で承認されたp.3～9に示す諸表のとおり令和6年度決算書類を承認する。

表1・1 令和6年度正味財産増減計算書

(令和6年1月1日から令和6年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	R6決算 A	R6予算 B	R5決算 C	A-B	A-C
【一般正味財産増減の部】					
1. 経常増減の部					
経常収益	115,983,700	125,296,877	118,415,362	▲ 9,313,177	▲ 2,431,662
特定資産運用益					
特定資産受取利息	863,025	801,000	324,066	62,025	538,959
退職特定資産受取利息	633	1,000	283	▲ 367	350
受取会費					
正会員費受取会費	60,038,000	63,094,550	62,856,500	▲ 3,056,550	▲ 2,818,500
事業収益	44,777,393	51,793,000	44,505,299	▲ 7,015,607	272,094
編集出版事業収益	12,209,153	12,888,000	12,679,303	▲ 678,847	▲ 470,150
研究会事業収益	25,868,240	33,605,000	25,125,996	▲ 7,736,760	742,244
表彰事業収益	6,700,000	5,300,000	6,700,000	1,400,000	0
受取寄付金	6,367,518	5,410,000	6,403,535	957,518	▲ 36,017
共催分担金	1,442,478	210,000	1,211,000	1,232,478	231,478
国際賞基金	3,306,305	4,000,000	3,723,921	▲ 693,695	▲ 417,616
Mukaiyama Award基金	1,378,735	1,200,000	1,098,614	178,735	280,121
受取一般寄付金	240,000	0	370,000	240,000	▲ 130,000
雑収益	3,937,131	4,197,327	4,325,679	▲ 260,196	▲ 388,548
受取利息	6,131	2,327	719	3,804	5,412
雑収益	0	50,000	40,060	▲ 50,000	▲ 40,060
懇親会参加料収益	3,931,000	4,145,000	4,284,900	▲ 214,000	▲ 353,900
経常費用	126,909,224	137,305,413	131,868,055	▲ 10,396,189	▲ 4,958,831
事業費および管理費	126,909,224	137,305,413	131,868,055	▲ 10,396,189	▲ 4,958,831
編集出版事業費	23,631,096	24,760,289	25,979,823	▲ 1,129,193	▲ 2,348,727
研究会事業費	30,312,937	38,627,034	29,189,028	▲ 8,314,097	1,123,909
表彰事業費	11,364,268	12,215,277	11,124,378	▲ 851,009	239,890
給料手当	23,783,993	23,793,764	28,077,962	▲ 9,771	▲ 4,293,969
アルバイト費	2,661,602	2,600,000	2,682,999	61,602	▲ 21,397
退職給付費用	2,465,861	2,465,861	796,501	0	1,669,360
その他人件費（福利厚生費）	5,046,512	5,660,000	6,352,325	▲ 613,488	▲ 1,305,813
懇親会費	7,737,958	6,090,000	7,669,058	1,647,958	68,900
会議費	1,152,157	1,103,000	1,318,467	49,157	▲ 166,310
旅費交通費	1,680,837	3,382,000	2,159,828	▲ 1,701,163	▲ 478,991
通信費	542,166	1,096,500	772,016	▲ 554,334	▲ 229,850
什器備品費	32,560	200,000	32,780	▲ 167,440	▲ 220
事務用品・リース費	1,492,435	2,000,000	1,675,801	▲ 507,565	▲ 183,366
水道光熱費	192,272	290,000	248,902	▲ 97,728	▲ 56,630
事務所賃借料	4,928,993	4,928,988	4,928,989	5	4
諸謝金	1,210,000	1,200,000	1,210,000	10,000	0
雑費（税・手数料・会費・IT）	8,673,577	6,892,700	7,649,198	1,780,877	1,024,379
当期経常増減額	▲ 10,925,524	▲ 12,008,536	▲ 13,452,693	1,083,012	2,527,169
2. 経常外増減の部					
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
3. 一般正味財産増減額					
一般正味財産期首残高	286,038,598	286,038,598	299,491,291	0	▲ 13,452,693
一般正味財産期末残高	275,113,074	274,030,062	286,038,598	1,083,012	▲ 10,925,524
【指定正味財産増減の部】					
1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金					
特定資産運用益計	4,000,319	4,000,070	78	249	4,000,241
特定資産受取利息	319	70	78	249	241
受取寄付金	4,000,000	4,000,000	0	0	4,000,000
一般正味財産への振替額	▲ 3,306,305	▲ 4,000,000	▲ 3,723,921	693,695	417,616
当期指定正味財産増減額	694,014	70	▲ 3,723,843	693,944	4,417,857
指定正味財産期首残高	6,257,047	6,257,047	9,980,890	0	▲ 3,723,843
指定正味財産期末残高	6,951,061	6,257,117	6,257,047	693,944	694,014
2. Mukaiyama Award基金					
特定資産運用益計	1,760,465	1,000,070	1,300,049	760,395	460,416
特定資産受取利息	465	70	49	395	416
受取寄付金	1,760,000	1,000,000	1,300,000	760,000	460,000
一般正味財産への振替額	▲ 1,378,735	▲ 1,200,000	▲ 1,098,614	▲ 178,735	▲ 280,121
当期指定正味財産増減額	381,730	▲ 199,930	201,435	581,660	180,295
指定正味財産期首残高	4,436,131	4,436,131	4,234,696	0	201,435
指定正味財産期末残高	4,817,861	4,236,201	4,436,131	581,660	381,730
【正味財産】					
正味財産期末残高	286,881,996	284,523,380	296,731,776	2,358,616	▲ 9,849,780

表 1・2 令和 6 年度正味財産増減内訳表(1/3)

(令和6年1月1日から令和6年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
【一般正味財産増減の部】							
1. 経常増減の部							
経常収益計	12,209,942	27,312,474	11,145,520	47,430,020	2,901,140	14,984,604	115,983,700
特定資産運用益	789	1,756	860,480		0		863,025
編集出版特定資産受取利息	789						789
研究会特定資産受取利息		1,756					1,756
表彰特定資産受取利息			860,480				860,480
退職特定資産受取利息	0	0	0		0	633	633
受取会費				47,430,020	1,801,140	10,806,840	60,038,000
個人会員費受取会費				23,573,600	895,200	5,371,200	29,840,000
法人会員費受取会費				21,962,000	834,000	5,004,000	27,800,000
団体会員費受取会費				126,400	4,800	28,800	160,000
学生会員費受取会費				1,768,020	67,140	402,840	2,238,000
事業収益	12,209,153	25,868,240	5,600,000		1,100,000	0	44,777,393
編集出版事業収益	12,209,153						12,209,153
会誌事業収益	3,092,000						3,092,000
広告事業収益	7,618,050						7,618,050
別冊事業収益	37,400						37,400
会誌関係雑収益	50,120						50,120
単行本印税収益	153,595						153,595
複写権使用料収益	1,257,988						1,257,988
研究会事業収益		25,868,240			0		25,868,240
シンポジウム事業収益		18,667,240					18,667,240
講習会事業収益		4,252,000					4,252,000
懇談会事業収益		2,949,000			0		2,949,000
見学会事業収益					0		0
表彰事業収益			5,600,000		1,100,000	0	6,700,000
企業冠賞事業収益			5,600,000				5,600,000
研究企画賞事業収益					1,100,000		1,100,000
その他表彰事業収益			0				0
寄付金収益	0	1,442,478	4,685,040		0	240,000	6,367,518
受取寄付金	0	1,442,478	4,685,040		0	240,000	6,367,518
雑収益		0				3,937,131	3,937,131
受取利息		0				6,131	6,131
雑収益		0				0	0
懇親会参加料収益						3,931,000	3,931,000

表 1・3 令和 6 年度正味財産増減内訳表(2/3)

(令和6年1月1日から令和6年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
経常費用	40,551,609	51,415,472	16,347,565	0	2,626,838	15,967,740	126,909,224
事業費	40,551,609	51,415,472	16,347,565		2,626,838		110,941,484
編集出版事業費	23,631,096						23,631,096
印刷製本費	11,309,254						11,309,254
用紙費	3,432,550						3,432,550
原稿料・校正費	581,000						581,000
編集費	733,212						733,212
送達費	6,531,150						6,531,150
別冊作成費	171,985						171,985
電子出版費	871,945						871,945
研究会事業費		30,312,937			0		30,312,937
シンポジウム費		20,542,197					20,542,197
講習会費		2,201,229					2,201,229
懇談会費		4,060,629					4,060,629
見学会事業費		0					0
研究会議費		206,594					206,594
事務委託費		3,122,288					3,122,288
支払寄付金		180,000					180,000
表彰事業費			11,277,718		86,550		11,364,268
表彰事業費			1,821,663				1,821,663
企業冠賞費用			4,771,015				4,771,015
研究企画賞費			0		86,550		86,550
国際賞費用			3,306,305				3,306,305
Mukaiyama Award事業費			1,378,735				1,378,735
給料手当	8,322,498	9,512,650	2,378,162		1,192,292		21,405,602
アルバイト費	1,034,831	1,182,816	295,704		148,251		2,661,602
退職給付費用	862,855	986,246	246,562		123,614		2,219,277
その他人件費（福利厚生費）	1,765,878	2,018,405	504,601		252,982		4,541,866
会議費	214,572	321,891	71,524		35,794		643,781
旅費交通費	155,145	232,741	51,715		25,881		465,482
通信費	145,412	218,141	48,471		24,257		436,281
什器備品費	9,767	14,652	3,256		1,629		29,304
事務用品・リース費	447,687	671,598	149,229		74,682		1,343,196
水道光熱費	57,678	86,525	19,226		9,622		173,051
事務所賃借料	1,478,552	2,218,050	492,851		246,647		4,436,100
雑費（税・手数料・会費・IT）	2,425,638	3,638,820	808,546		404,637		7,277,641

表 1・4 令和 6 年度正味財産増減内訳表(3/3)

(令和6年1月1日から令和6年12月31日まで)

(単位:円)

科 目		公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
		公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
73	管理費						15,967,740	15,967,740
74	給料手当						2,378,391	2,378,391
75	退職給付費用						246,584	246,584
76	その他人件費(福利厚生費)						504,646	504,646
77	懇親会費用						7,737,958	7,737,958
78	会議費						508,376	508,376
79	旅費交通費						1,215,355	1,215,355
80	通信費						105,885	105,885
81	什器備品費						3,256	3,256
82	事務用品・リース費						149,239	149,239
83	水道光熱費						19,221	19,221
84	事務所賃借料						492,893	492,893
85	諸謝金						1,210,000	1,210,000
86	雑費(税・手数料・会費・IT)						1,395,936	1,395,936
87	当期経常増減額	▲ 28,341,667	▲ 24,102,998	▲ 5,202,045	47,430,020	274,302	▲ 983,136	▲ 10,925,524
88	2. 経常外増減の部							
89	経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
90	計上外費用	0	0	0	0	0	0	0
91	当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
92	3. 一般正味財産増減額							
93	一般正味財産期首残高							286,038,598
94	一般正味財産期末残高							275,113,074
95	当期一般正味財産増減額							▲ 10,925,524
96	【指定正味財産増減の部】							
97	1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金							
98	指定正味財産運用益			694,014				694,014
99	特定資産受取利息			319				319
100	受取寄付金			4,000,000				4,000,000
101	一般正味財産への振替額			▲ 3,306,305				▲ 3,306,305
102	指定正味財産期首残高			6,257,047				6,257,047
103	指定正味財産期末残高			6,951,061				6,951,061
104	2. Mukaiyama Award基金							
105	指定正味財産運用益			381,730				381,730
106	特定資産受取利息			465				465
107	受取寄付金			1,760,000				1,760,000
108	一般正味財産への振替額			▲ 1,378,735				▲ 1,378,735
109	指定正味財産期首残高			4,436,131				4,436,131
110	指定正味財産期末残高			4,817,861				4,817,861
111	【正味財産期末残高】							
112	正味財産期末残高							286,881,996

【参考】表 1・5 主な科目の対予算・対前年度決算比較

科 目		R6 年度予算との差額(千円)		R5 年度決算との差額(千円)	
		収益	費用	収益	費用
受取会費収入		▲3,057	—	▲2,819*1	—
事業	編集・出版	▲679	▲1,129	▲470	▲2,349*2
	研究会	▲7,737	▲8,314	742	1,124
	表彰	1,400 *3	▲851	0	240
	会議費・旅費・通信費他	—	▲2,979	—	▲1,115*4
	雑費	—	1,781	—	1,024*5

*1 受取会費減収内訳：個人▲1,716千円；法人▲1,230千円；学生+127千円

*2 R5 創立 80 周年記念出版事業による

*3 企業冠賞賛同 1 社分期付款

*4 諸経費削減

*5 I T 関連費および決済手数料の増加

表 1・6 令和 6 年度貸借対照表

令和6年12月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	74,829,497	83,453,097	▲ 8,623,600
未収収益	898,671	450,773	447,898
前払金	294,347	333,987	▲ 39,640
仮払金	95,496	282,722	▲ 187,226
流動資産合計	76,118,011	84,520,579	▲ 8,402,568
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
編集出版事業特定資産	17,323,782	19,322,993	▲ 1,999,211
研究会事業特定資産	19,523,724	21,521,968	▲ 1,998,244
表彰事業特定資産	196,022,151	197,161,671	▲ 1,139,520
国際賞基金	6,951,061	6,257,047	694,014
Mukaiyama Award基金	4,817,861	4,436,131	381,730
退職給付引当特定資産	18,035,176	15,569,315	2,465,861
特定資産合計	262,673,755	264,269,125	▲ 1,595,370
(2) その他固定資産			
差入保証金	4,698,000	4,698,000	0
電話加入権	127,284	127,284	0
その他固定資産合計	4,825,284	4,825,284	0
固定資産合計	267,499,039	269,094,409	▲ 1,595,370
資産合計	343,617,050	353,614,988	▲ 9,997,938
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	737,857	1,284,597	▲ 546,740
前受金	36,751,500	38,791,500	▲ 2,040,000
預り金	1,210,521	1,198,800	11,721
仮受金	0	39,000	▲ 39,000
流動負債合計	38,699,878	41,313,897	▲ 2,614,019
2. 固定負債			
退職給付引当金	18,035,176	15,569,315	2,465,861
固定負債合計	18,035,176	15,569,315	2,465,861
負債合計	56,735,054	56,883,212	▲ 148,158
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国際賞受託金	6,951,061	6,257,047	694,014
Mukaiyama Award基金	4,817,861	4,436,131	381,730
指定正味財産合計	11,768,922	10,693,178	1,075,744
(うち特定資産への充当額)	(11,768,922)	(10,693,178)	-(▲1,075,744)
2. 一般正味財産	275,113,074	286,038,598	▲ 10,925,524
正味財産合計	286,881,996	296,731,776	▲ 9,849,780
負債及び正味財産合計	343,617,050	353,614,988	▲ 9,997,938

表 1・7 令和 6 年度貸借対照表内訳表

令和6年12月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			その他事業会計	法人会計	合計
	編集・出版事業会計	研究会事業会計	表彰事業会計			
I 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金					74,829,497	74,829,497
未収収益		665,898	226,666		6,107	898,671
前払金		11,947	17,380		265,020	294,347
仮払金					95,496	95,496
流動資産合計	0	677,845	244,046	0	75,196,120	76,118,011
2. 固定資産						
(1) 特定資産						
編集出版事業特定資産	17,323,782					17,323,782
研究会事業特定資産		19,523,724				19,523,724
表彰事業特定資産			196,022,151			196,022,151
国際賞基金			6,951,061			6,951,061
Mukaiyama Award 基金			4,817,861			4,817,861
退職給付引当特定資産					18,035,176	18,035,176
特定資産合計	17,323,782	19,523,724	207,791,073	0	18,035,176	262,673,755
(2) その他固定資産						
差入保証金					4,698,000	4,698,000
電話加入権					127,284	127,284
その他固定資産合計	0	0	0	0	4,825,284	4,825,284
固定資産合計	17,323,782	19,523,724	207,791,073	0	22,860,460	267,499,039
資産合計	17,323,782	20,201,569	208,035,119	0	98,056,580	343,617,050
II 負債の部						
1. 流動負債						
未払金		28,657			709,200	737,857
前受金		279,000			36,472,500	36,751,500
預り金					1,210,521	1,210,521
流動負債合計	0	307,657	0	0	38,392,221	38,699,878
2. 固定負債						
退職給付引当金					18,035,176	18,035,176
固定負債合計	0	0	0	0	18,035,176	18,035,176
負債合計	0	307,657	0	0	56,427,397	56,735,054
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
国際賞受託金			6,951,061			6,951,061
Mukaiyama Award 基金			4,817,861			4,817,861
指定正味財産合計			11,768,922			11,768,922
(うち特定資産への充当額)			(11,768,922)			(11,768,922)
2. 一般正味財産	17,323,782	19,893,912	196,266,197	0	41,629,183	275,113,074
正味財産合計	17,323,782	19,893,912	208,035,119	0	41,629,183	286,881,996
負債及び正味財産合計	17,323,782	20,201,569	208,035,119	0	98,056,580	343,617,050

表 1・8 附属明細書

(単位：円)

1. 特定資産の明細

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	編集出版事業特定資産	19,322,993	789	2,000,000	17,323,782
	研究会事業特定資産	21,521,968	1,756	2,000,000	19,523,724
	表彰事業特定資産	197,161,671	923,705	2,063,225	196,022,151
	国際賞基金	6,257,047	4,000,319	3,306,305	6,951,061
	Mukaiyama Award 基金	4,436,131	1,760,465	1,378,735	4,817,861
	退職給付引当特定資産	15,569,315	2,465,861	0	18,035,176
	特定資産計	264,269,125	9,152,895	10,748,265	262,673,755

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	15,569,315	2,465,861	0	0	18,035,176

表 1・9 財産目録

令和6年12月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金額 (円)
1	【流動資産】				
2	預金	振替貯金		運転資金	5,130,416
3		普通預金	みずほ銀行神田支店	運転資金	21,868,540
4		普通預金	みずほ銀行神田支店	運転資金	3,418,843
5		普通預金	みずほ銀行神田支店	運転資金	680,054
6		普通預金	みずほ銀行神田支店	運転資金	14,066,745
7		普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	運転資金	2,252,382
8		普通預金	三菱UFJ信託銀行上野支店	運転資金	2,140,388
9		普通預金	北海道支部	運転資金	1,543,932
10		普通預金	東北支部	運転資金	1,805,035
11		普通預金	関東支部	運転資金	5,870,863
12		普通預金	東海支部	運転資金	2,482,251
13		普通預金	関西支部	運転資金	5,072,772
14		普通預金	中国四国支部	運転資金	4,346,624
15		普通預金	九州山口支部	運転資金	4,150,652
16	未収収益				898,671
17	前払金				294,347
18	仮払金	現金	手元保管	運転資金	95,496
19	流動資産合計				76,118,011
20	【固定資産】				
21	特定資産				
22	編集事業特定資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	2,094,326
23		普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	5,229,456
24		定期預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	10,000,000
25	研究会事業特定資産	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究会事業の財源として使用している	19,523,724
26	表彰事業特定資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	1,205,365
27		普通預金	三菱UFJ信託銀行上野支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	1,374,176
28		定期預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	3,000,000
29		定期預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	20,000,000
30			第372回利付国債	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	100,442,610
31			東京都公募公債第786回	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	50,000,000
32			千葉県平成29年度第3回公募公債	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	20,000,000
33	退職給付引当資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部		6,435,176
34		定期預金	三井住友信託銀行本店営業部		11,600,000
35	国際賞基金	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	6,951,061
36	Mukaiyama Award基金	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	4,817,861
37	その他固定資産	差入保証金			4,698,000
38		電話加入金			127,284
39	固定資産合計				267,499,039
40	資産合計				343,617,050
41	【流動負債】				
42	未払金				737,857
43	前受金				36,751,500
44	預り金				1,210,521
45	流動負債合計				38,699,878
46	【固定負債】				
47	退職給付引当金				18,035,176
48	固定負債合計				18,035,176
49	負債合計				56,735,054
50	正味財産				286,881,996

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券 償却原価法（定額法）

(2) 固定資産の減価償却の方法

法人税法に基づき一定額以下は費用処理している。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンスリース：リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引については通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
編集出版事業特定資産	19,322,993	789	2,000,000	17,323,782
研究会事業特定資産	21,521,968	1,756	2,000,000	19,523,724
表彰事業特定資産	197,161,671	923,705	2,063,225	196,022,151
国際賞基金	6,257,047	4,000,319	3,306,305	6,951,061
Mukaiyama Award 基金	4,436,131	1,760,465	1,378,735	4,817,861
退職給付引当特定資産	15,569,315	2,465,861	0	18,035,176
合 計	264,269,125	9,152,895	10,748,265	262,673,755

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
編集出版事業特定資産	17,323,782	0	17,323,782	
研究会事業特定資産	19,523,724	0	19,523,724	
表彰事業特定資産	196,022,151	0	196,022,151	
国際賞基金	6,951,061	6,951,061	0	
Mukaiyama Award 基金	4,817,861	4,817,861	0	
退職給付引当特定資産	18,035,176	0	0	18,035,176
合 計	262,673,755	11,768,922	232,869,657	18,035,176

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国債	100,442,610	98,595,900	▲ 1,846,710
地方債	70,000,000	68,628,670	▲ 1,371,330
合 計	170,442,610	167,224,570	▲ 3,218,040

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
国際賞事業費計上による振替額	3,306,305
Mukaiyama Award 事業費計上による振替額	1,378,735
合 計	4,685,040

第2号議案 令和7年度役員選任の件

本総会の終結をもって役員15名が退任、2名が辞任となるので、定款第23条に定めるところにより、役員候補者選出委員会において選出された役員候補者(表2)を参考にして、退任・辞任役員の後任として新任および重任理事および監事(太字表記17名)を選任する。また、定款第23条第2項に基づき、会長候補者、副会長候補者、常務理事候補者(太字下線表記3名)を選出する。なお、この3名は2月度理事会においてそれぞれ会長、副会長、常務理事として選任される予定である。

表2 令和6年度役員および令和7年度役員候補者対照表(敬称略)

役職区分	令和7年度				
	令和6年度(参考)		新任候補	重任候補	所属
	退任	留任			
会長・代表理事	生頼 一彦		須貝 威		慶應義塾大学
副会長・業務執行理事	袖岡 幹子		朝倉 光博 ^{*1}		(株)ナード研究所
副会長・業務執行理事		青木 一真			第一三共(株)
副会長・業務執行理事		林 雄二郎			東北大学
常務理事(事務局長)	永井 一郎			永井 一郎	有機合成化学協会
理事(編集担当)		柴田 高範			早稲田大学
理事(編集担当)	大森 建		眞鍋 史乃		星薬科大学/東北大学
理事(事業担当)		松本 隆司			東京薬科大学
理事(事業担当)	三谷 晃		釣谷 孝之 ^{*1}		塩野義製薬(株)
理事	朝倉 光博 ^{*1}		奈良 秀樹		高砂香料工業(株)
理事		大野 充			(株)ダイセル
理事		神子島佳子			第一三共(株)
理事	釣谷 孝之 ^{*1}		廣瀬洋一郎		東京化成工業(株)
理事	井上 将行			井上 将行	東京大学
理事	垣内 史敏		藤本ゆかり		慶應義塾大学
理事	高柳 大			高柳 大	味の素(株)
理事(北海道支部)	市川 聡		中野 環		北海道大学
理事(東北支部)		瀧宮 和男			東北大学
理事(関東支部)		大林 達彦			富士フイルム(株)
理事(関東支部)	長澤 和夫		荒井 孝義		千葉大学
理事(東海支部)	柴田 哲男		八谷 巖		三重大学
理事(関西支部)		椿 一典			京都府立大学
理事(関西支部)	深瀬 浩一		池田 浩		大阪公立大学
理事(中国四国支部)	依馬 正		灰野 岳晴		広島大学
理事(九州山口支部)		入江 亮			熊本大学
監事	千田 憲孝		秋山 隆彦		学習院大学
監事	家田 成		三谷 晃		日本曹達(株)
監事		古内 剛			Meiji Seika ファルマ(株)
人 数	17	11	14	3	

*1 任期前辞任のち新任

第 3 号議案 定款変更の件

定款第 41 条第 1 項に定めるところにより、表 3 に説明するとおり変更する。本案は令和 6 年 9 月度理事会で承認されている。

表 3 公益社団法人有機合成化学協会定款の変更前後対照表

改定する 条文	改定（案）	改定前（現行） (平成 28 年 2 月 18 日 通常総会改定議決)	説明
第 10 条	（会員資格の喪失） 第 10 条 前 2 条の場合のほか、会員は次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。 （1）会費を納入せず、<u>督促後なお会費を納入しないとき</u>。 （2）<u>一定期間連絡が取れないとき</u>。 （3）総代議員(社員)が同意したとき。 （4）当該会員が死亡し、もしくは<u>失踪宣告</u>を受け、又は解散したとき。 2 代議員である会員は、会員資格の喪失をもって代議員資格を喪失する。 <u>3</u> 第 1 項の規定により会員資格を喪失しても、既納の会費は正当な理由がある場合を除きこれを返還しない。	（会員資格の喪失） 第 10 条 前 2 条の場合のほか、会員は次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。 （1）会費を納入せず、督促後<u>なお会費を 2 年以上納入しないとき</u>。 （2）総代議員(社員)が同意したとき。 （3）当該会員が死亡し、もしくは失踪宣言を受け、又は解散したとき。 2 代議員である会員は、会員資格の喪失をもって代議員資格を喪失する。 3. <u>第 1 項</u>の規定により会員資格を喪失しても、既納の会費は正当な理由がある場合を除きこれを返還しない。	・多年度会費未納者の発生を回避すると同時に、未納者への対応業務による負荷軽減のため、会費納入督促後の猶予期間（「2 年以上」）の記載を削除し、また、新たに「一定期間連絡が取れないとき」を追加する。 ・併せて、誤記訂正（2 か所；「失踪宣言」→「失踪宣告」、「3 .」→「3」）を行う。

第4号議案 名誉会員委嘱の件

定款第5条第5項および名誉会員の委嘱に係る内規2の定めに基づき、令和6年12月度理事会で名誉会員としての推薦を決議した次の会員に、名誉会員を委嘱する。

表4-1 令和7年度名誉会員推挙候補者(敬称略・年齢順)

氏名(年齢)	生年月日	称号・勤務先	推挙の事由
中川 昌子(89)	1935.04.19	千葉大学名誉教授	(2)特別賞受賞者
鈴木 啓介(70)	1954.06.24	東京工業大学・北里大学 栄誉教授	(1)会長経験者
諫山 滋(70)	1954.06.27	元三井化学(株)代表取締役専務執行役員	(1)会長経験者

表4-2 名誉会員一覧(令和7年2月18日現在、委嘱年月日順、敬称略)

No.	氏名	勤務先役職 or 称号(委嘱当時)	委嘱年月日	生年月日	会長	特別賞
1	E. J. Corey	ハーバード大学教授	1993.02.16	1928.07.12	ノーベル賞 1997-1998	
2	野依 良治	科学技術振興機構センター長	2002.02.19	1938.09.03		2000
3	鈴木 章	北海道大学名誉教授	2005.02.24	1930.09.12		2003
4	平岡 哲夫	元三共有機合成(株)代表取締役社長	2006.02.23	1935.08.05		
5	村井 眞二	大阪大学名誉教授	2006.02.23	1938.08.24		2004
6	村橋 俊一	大阪大学名誉教授	2008.02.20	1937.05.12		2006
7	中井 武	東京工業大学名誉教授	2011.02.18	1940.08.30		2014
8	白濱 晴久	北海道大学名誉教授	2012.02.17	1930.06.28		2011
9	竜田 邦明	早稲田大学名誉教授・栄誉フェロー	2013.02.19	1940.12.01		2012
10	玉尾 皓平	京都大学名誉教授	2014.02.20	1942.10.31		2013
11	山本 尚	シカゴ大学名誉教授	2014.02.20	1943.07.16		2008
12	迫田 良三	元日産化学工業(株)副社長	2014.02.20	1943.08.24	2007-2008	
13	大村 智	北里大学特別栄誉教授	2016.02.18	1935.07.12	ノーベル賞 2009-2010	
14	桑嶋 功	東京工業大学名誉教授	2016.02.18	1937.11.11		2015
15	園頭 健吉	大阪市立大学名誉教授	2017.02.16	1931.12.05		2016
16	山本 嘉則	東北大学名誉教授	2019.02.14	1942.11.21		2018
17	福山 透	東京大学名誉教授	2019.02.14	1948.08.09		
18	柴崎 正勝	(公財)微生物化学研究会理事長・所長	2020.02.19	1947.01.25		2010
19	佐藤 幸蔵	(株)NIL 代表取締役社長	2020.02.19	1949.03.08		
20	塩入 孝之	名古屋市立大学名誉教授	2021.02.17	1935.08.05		2020
21	伊関 克彦	東レ(株)技術センター 顧問	2022.02.16	1951.06.08		
22	鳥居 滋	岡山大学名誉教授	2023.02.15	1932.06.25		2022
23	奈良坂 紘一	東京大学名誉教授	2024.02.15	1944.05.06		2023
24	中川 昌子	千葉大学名誉教授	2025.02.18	1935.04.19		2024
25	鈴木 啓介	東京工業大学・北里大学 栄誉教授	2025.02.18	1954.06.24	2013-2014	
26	諫山 滋	元三井化学(株)代表取締役専務執行役員	2025.02.18	1954.06.27	2019-2020	

その他

議案があれば挙手の上、提議してください。

【報告事項】

報告 1 令和 6 年度事業報告（令和 6 年 1 月 1 日から令和 6 年 12 月 31 日まで）

定款第 39 条第 1 項および第 2 項に定めるところにより、令和 7 年 1 月度理事会で承認された令和 6 年度事業報告について、次のとおり報告をする。

1. 令和 6 年度通常総会(第 87 回)

- ✓ 令和 6 年 2 月 15 日 如水会館にて開催
- ✓ 構成員(代議員)98 名中、出席者 85 名(本人出席 13 ; 代理人出席 0 ; 委任状・書面表決 85)
- ✓ 決議事項
 - 第 1 号議案 『令和 5 年度決算報告承認』の件
 - 第 2 号議案 『令和 6 年度役員選任』の件
 - 第 3 号議案 『名誉会員委嘱』の件
- ✓ 報告事項
 - 報告 1. 『令和 5 年度事業報告』
 - 報告 2. 『令和 6 年度事業計画報告』
 - 報告 3. 『令和 6 年度収支予算報告』
 - 報告 4. 『永年会員昇格者報告』

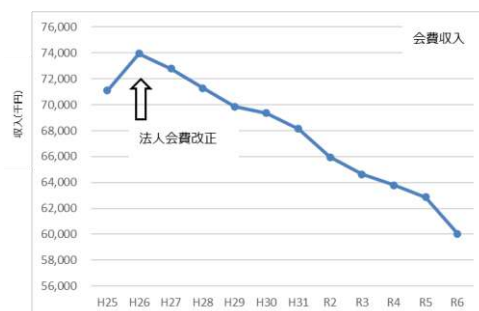
2. 会員動向

表 5 会員数動向

区 分		R5 年末	入 会	復活	退 会	区分変更		異動計	R6 年末
普通 会員	個人	3,083	53	1	▲181	24	▲17	▲120	2,963
	法人	216	1		▲8			▲7	209
	団体	3							3
普通会員 計		3,302	54	1	▲189	24	▲17	▲128	3,175
永年会員		190			▲5	17	▲1	11	201
名誉会員		23			▲1	1		0	23
学生会員		590	257		▲123		▲24	110	700
合 計		4,105	311	1	▲318	42	▲42	▲7	4,099

会費収入の経年変化

令和 6 年度の会費収入は、前年対比▲2,819 千円であった。普通会員(個人・法人)が著しく減少している。学生会員は微増した。



参考 会費収入の推移 (単位: 千円)

会員種別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
個人会員	41,427	40,535	39,688	38,488	37,237	36,643	35,261	34,556	33,344	32,537	31,556	29,840
法人会員	26,200	30,259	30,190	29,967	29,630	29,650	29,825	29,410	29,110	29,170	29,030	27,800
団体会員	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160
学生会員	3,321	3,003	2,742	2,666	2,830	2,910	2,900	1,827	2,028	1,930	2,111	2,238
合計	71,108	73,957	72,780	71,281	69,857	69,363	68,146	65,953	64,642	63,797	62,857	60,038
前年との差	—	2,849	-1,177	-1,499	-1,424	-494	-1,217	-2,193	-1,311	-845	-940	-2,819

3. 事業報告

令和6年度に実施した編集出版、研究会、および表彰の各事業について、表6のとおり報告する。

公1・編集出版事業(15頁)

公2・研究会事業

シンポジウム

本部(15頁)	北海道支部(15頁)	東北支部(16頁)	関東支部(16頁)
東海支部(17頁)	関西支部(18頁)	中国・四国支部(18頁)	九州・山口支部(19頁)

講習会

本部(19頁)	東北支部(19頁)	関西支部(19頁)
---------	-----------	-----------

懇談会

本部(20頁)	関東支部(21頁)	東海支部(21頁)
関西支部(22頁)	中国・四国支部(22頁)	九州・山口支部(23頁)

見学会

本部(23頁)	九州・山口支部(23頁)
---------	--------------

公3・表彰事業

有機合成化学特別賞(24頁)	有機合成化学協会賞・奨励賞(24頁)
Mukaiyama Award(24頁)	Lectureship Award(25頁)
企業冠賞(25頁)	高砂香料国際賞「野依賞」(25頁)
支部表彰	関西支部(26頁)
東北支部(26頁)	九州・山口支部(26頁)
中国・四国支部(26頁)	

他1・共益事業

ゆうごう会・その他(26頁)	研究企画賞(26頁)
----------------	------------

表 6・1 令和 6 年度事業報告（その 1）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
公 1・編集出版事業 有機合成化学協会誌 第 82 巻第 1 号～12 号(12 冊)、発行部数 4,300 部、総頁数 1,360 頁 普通号 10 回；特集号 2 回(第 5 号「分子設計・編集・合成化学のイノベーション」；第 11 号 Special Issue in English) 掲載内容：巻頭言 12 頁(12 件)、総説 31 頁(2 報)、総合論文 751 頁(68 報)、Review de Debut 21 頁(10 報)、 ラウンジ 50 頁(6 報)、ケミカルズ覚え書き 4 頁(1 報)、十字路 11 頁(44 件)、感動の瞬間・MyPR 55 頁(14 報)、新しい 合成 38 頁(150 件)、会告・協会記事等 265 頁、広告 110 頁 (独)科学技術振興機構が運用する電子ウェブサイト(J-STAGE)に 2024 年度分を掲載。なお、新企画「Spotlight Archives」として「有機触媒化学：黎明期の研究から最新の成果まで」と「有機電解反応/合成」を公開した。 単行本の編集・出版 「有機化学実験の手引き／1988 年出版・化学同人」有機合成化学協会編；化学同人（刊行日未定） 公 1 関連会議 有機合成化学協会誌編集委員会(2/1, 3/15, 7/30, 9/13, 11/22)化学会館・オンライン併用； (5/27)化学会館	
公 2・研究会事業 シンポジウム【本部】 第 124 回有機合成シンポジウム；6/27-28；北海道大学フロンティア応用科学研究棟レクチャーホール （鈴木章ホール）ほか 【受賞講演】2023 年度有機合成化学協会賞（技術的なもの） COVID-19 治療薬エンシトレビルの実用的製造法の開発（塩野義製薬）釣谷孝之、木嶋昭仁、福井伸 明、柳澤周一、安倉和志、笠松幸司 【受賞講演】2023 年度企業冠賞 ・「カネカ・生命科学賞」分子創製に基づく RNA 研究の展開（名大院理）阿部洋 ・「東ソー・環境エネルギー賞」環境問題に貢献する天然物合成（徳島大院医歯薬）難波康祐 ・「富士フイルム・機能性材料化学賞」機能性有機蛍光色素の合成とデバイスおよび分子イメージングへの応 用（東工大物質理工）小西玄一 口頭発表 40 件；ポスター発表 43 件 合計 83 件 優秀ポスター賞 4 件表彰 共同主催：北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター、共催：日本化学会、日本 薬学会、後援：日本農芸化学会 第 125 回有機合成シンポジウム；11/7-8；早稲田大学国際会議場 【受賞講演】2023 年度企業冠賞「日産化学・有機合成新反応／手法賞」 非共有結合性相互作用を活用する位置選択的な炭素-水素結合変換反応の開発 （九大先導研）國信洋一郎 【特別講演】 単純窒素ユニットの導入にこだわって：二刀流的 N 試剤の開発（阪大院工）南方聖司 オーラル&ポスター発表 39 件；ポスター発表(ショートプレゼンテーション有り)30 件 合計 69 件 最優秀発表賞 1 件；優秀発表賞 4 件表彰 共催：日本化学会、日本薬学会、早稲田大学理工学術院総合研究所、後援：日本農芸化学会	
シンポジウム【北海道支部】 第 36 回万有札幌シンポジウム；7/13；北海道大学・オンライン併用 1.化学選択性の触媒制御への挑戦、そしてデジタル有機合成へ（九大院薬）大嶋孝志 2.近赤外 2 光子(2P)応答性光アンテナ部位の設計、合成、および、生理学実験への応用（広島大院 先進理工）安倍学 3.動的キラリティ誘起と不斉増幅を特徴とするキラル高分子触媒（京大院工）杉野目道紀 4.生物活性多環式天然物の不斉全合成（早大理工）中田雅久 5.生物活性分子のイメージングと標的同定のための化学（理研）袖岡幹子 ポスター発表 21 件；主催：万有札幌シンポジウム組織委員会	

表 6・2 令和 6 年度事業報告 (その 2)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【北海道支部】のつづき	
日本化学会北海道支部夏季研究発表会；7/20；北見工業大学 主催：日本化学会北海道支部	-(-)
若手研究者のための有機化学札幌セミナー；10/31；北海道大学薬学部 1.画像機械学習を活用した化学研究への展開（北大 ICReDD）井手雄紀 2.STAT3 阻害天然物 Phaeosphaeride A のケミカルバイオロジー研究(北海道医療大薬)平山裕一郎 3.触媒・反応ツールの開発が拓く臭素化の科学（北大触媒研）浅野圭佑 4.天然物合成を基盤とする幅広い有機合成化学（北里大薬）大多和正樹 5.元素特性を活かした金属カルベノイド種の分子変換反応（北大院理）岡本和紘	154(128)
シンポジウム【東北支部】	
第 35 回万有仙台シンポジウム；5/18；東北大学百周年記念講堂川内萩ホール・オンライン併用 ・分子触媒の新手：フラストレーションを制御する機能の探求（阪大院工）星本陽一 ・金属錯体で創る光合成反応触媒（阪大院工）正岡重行 ・新規有機材料開発から製造プロセス革新まで～四半世紀にわたる私の研究変遷～（産総研）甲村長利 ・日本発の環状ホスト分子「Pillar[n]arene」：発見から分子空間化学への展開（京大院工）生越友樹 ・自然免疫受容体発見から四半世紀：微生物由来活性分子の有機化学（慶大理工）藤本ゆかり ・キラル分子触媒の設計と機能探索：25 年の変遷（京大院理）松永茂樹 ポスター発表 21 件；主催：万有仙台シンポジウム組織委員会	380(274)
令和 6 年度化学系学協会東北大会；9/14-15；秋田大学手形キャンパス 有機化学関連ポスター発表 74 件	485(295)
有機化学コロキウム；9/14；秋田大学手形キャンパス；学協会東北大会と併催 ・Stereoselective synthesis of heterocyclic natural products with silver ionmediated cyclization（東北医薬大薬）渡邊一弘 ・多環性芳香族アルカロイド配糖体ルブロン A の合成研究（秋田大院理工）藤原憲秀 ・Synthetic Study for Cyclic Peptide Natural Products: Total Synthesis and Structure Determination of Decatransin（東北大院薬）土井隆行	100(-)
仙台地区秋の講演会；10/19；東北大学理学部大講義室・オンライン併用 1.超原子価ヨウ素の新しい反応・合成・構造有機化学（東北大院薬）吉戒直彦 2.富士フィルムの挑戦を支える素材技術―主力事業の喪失と新規事業の創出―(富士フィルム)大林達彦 3.未踏炭素機能科学をめざして（理研）伊丹健一郎	165(115)
第 39 回有機合成化学若手研究者のための仙台セミナー；12/21； 東北大学理学部大講義室・オンライン併用 <15 分講演> 久保田圭亮（東北大院理），三島祐悟（東北大院生命）， Mohamed Osama（東北大院薬），二瓶聖河（東北大院理），大城彩里（東北大院薬）， 佐藤瞭（東北大院農），笹本大空（東北大院薬） <ショートトーク> 鷹見優月（東北大院薬），宮内元睦（東北大院工），韓暁雷（東北大院理）， 菅野雄亮（東北大院薬），法月健真（東北大多元研），栗田駿之介（東北大院理）	144(113)
シンポジウム【関東支部】	
第 86 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(野田シンポジウム) 5/18；東京理科大学野田キャンパス；特別講演 2 件，一般研究発表 60 件 1.インジウム化合物の活性化を利用した還元的分子変換反応の開発（東理大創域理工）坂井教郎 2.天然物合成，ななころびやおき（東工大理）大森建	202(122)
第 87 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(前橋シンポジウム) 11/30；前橋市中央公民館；特別講演 2 件，一般研究発表 48 件 1.ポリ(ジメチルシリレン)から炭化ケイ素への反応解析（特殊無機材料研究所）久新荘一郎 2.高原子価ヨウ素を活用する有機合成と天然物合成への応用（東農工大院工）長澤和夫	120(65)

表 6・3 令和 6 年度事業報告（その 3）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【関東支部】のつづき	
若手研究者のためのセミナー；7/29；化学会館 1.全室素糖を有する配糖体の合成と生物活性評価/光励起型ニトロアレーン還元法の開発（慶大理工）岡村俊孝 2.医薬品の製造プロセス開発におけるハイスループット実験/計算化学/情報科学の活用（アステラス製薬）角居雄太 3.生物活性フラボノイドの網羅的合成法の開発と応用（筑波大国際統合睡眠医）須貝智也 4.Grignard 反応の革新を目指して（東大院薬）三ツ沼治信 5.フルオロアルコール溶媒の特性を活用した有機合成反応（武蔵野大薬）牧野宏章 6.C 型レクチン受容体 Mincle 複合脂質リガンドおよび標識プローブ分子合成と機能（慶大理工）松丸尊紀	47(19)
第 40 回有機合成化学セミナー；9/18-20；アートホテル新潟駅前 【招待講演】 1.光による電子操作を利用する電子触媒クロスカップリング反応（関西学院大生命環境）白川英二 2.最先端構造解析プラットフォーム(MicroED)を活用した各種ナノクリスタルの構造解析事例（スベラファーマ）中井啓陽 3.多環式天然物の合成研究（名大院創薬科学）横島聡 4.隣接基協働効果の発現による未踏の樹脂分解触媒反応の追求と効率的なケミカルリサイクルへの展開（東大院工）野崎京子 5.Janus Kinase (JAK)阻害薬 Delgocitinib の創製（日本たばこ産業）野路悟 6.炭素及び窒素陽イオンの有機化学における新機軸（神戸学院大薬）国嶋崇隆 7.光駆動ラジカル反応の触媒的な制御（名大トランスフォーマティブ生命分子研）大井貴史 【令和 5 年度有機合成化学協会奨励賞】受賞講演 1.精密有機合成を基盤とした革新的発光機能分子の開拓（横浜国大院工）伊藤傑 2.有機合成化学的アプローチによるアプロニン A の生物有機化学研究（筑波大数理物質）大好孝幸 3.水中特異的な有機反応の開発（東大院理）北之園拓 4.極性転換型の反応剤を活用する官能基導入（阪大院工）清川謙介 5.基質支配に基づく新規ペプチド結合形成反応の確立とその展開（中部大先端研究センター）服部倫弘 【2024 Mukaiyama Award】受賞講演 1.Synthesis through the lens of informatics (Scripps Research, USA) Ryan A. Shenvi 2.芳香族ケトンの脱アシル化・脱酸素化・芳香環交換反応（早大理工）山口潤一郎 【2024 Lectureship】受賞講演 1.Combining Synthetic Chemistry and Biology for Streamlining Access to Complex Molecules (Rice University, USA) Hans Renata ポスター発表：84 件；共催本部	241(103)
シンポジウム【東海支部】	
有機合成セミナー；11/18；信州大学 1.多点認識型含窒素複素環カルベ ン(NHC)の開発と触媒的不斉反応への展開（金沢大）添田貴宏 2.グリコシルホウ酸塩を用いたアリアル C-グリコシド合成法の開発（慶大）東林修平 3.標的細胞の生理機能を操る遺伝子指向性ケージド化合物の設計と合成（東邦大）古田寿昭	44(36)
若手研究者のためのセミナー；7/12；三重大 【支部奨励賞受賞講演】 1.医薬資源合成の効率化を志向したアルケン及び C(sp³)-H 結合のヘテロ官能基化反応の開発（静岡県大）山下賢二 【招待講演】 1.芳香族アミン化合物における電荷／スピンの局在・非局在化（三重大）伊藤彰浩 2.1,3-双極子を活用する非協奏的反応経路の複素環構築（金沢大）宇梶裕	40(33)
第 55 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会；11/2-3；名古屋工業大学	525(337)

表 6・4 令和 6 年度事業報告（その 4）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【東海支部】のつづき	
第 55 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会特別討論会；11/2-3；名古屋工業大学 【特別討論会】「持続可能な有機化学の探求」 ＜招待講演＞ 1.樹脂分解のための触媒開発（東大）野崎京子 2.複雑分子の精密改変による機能性分子の開発（九大）丹羽節 ＜依頼講演＞ 1.ドミノ反応を活用した含窒素ヘテロ環合成法の開発（三重大）八谷巖 2.元素・結合・反応場の特性を活用する反応と分子の設計（静岡県大）滝田良 3.ハロゲンによる元素置換戦略：新たな機能性有機分子の創成をめざして（分子研）榎山儀恵 4.未踏炭素骨格の構築法開発と機能開拓（名大）八木亜樹子 発表件数 16 件	120(-)
総合講演会；12/5；静岡大学 1.高色純度・高耐久性有機蛍光体の開発と応用（東レ）市橋泰宜 2.新しい薬の可能性を開く核酸医薬（持田製薬）北川英俊 3.多機能光触媒の創製と応用（名大）大井貴史	122(116)
シンポジウム【関西支部】	
第 44 回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」(若手研究者のためのセミナー)；8/1； 大阪公立大学杉本キャンパス 1.CO₂ 光還元を実現する有機分子触媒の開発（神戸大院理）松原亮介 2.環歪みと互変異性を利用した含窒素ヘテロ環合成（京都工繊大分子化学）安井基博 3.嵩高い芳香環の密集による高反応性化学種の安定化と機能発現（阪大院理）西内智彦 4.動的反応化学の新展開（立命館大生命科）五月女宜裕 5.研究者と特許 切っても切れない関係～有機合成研究者に向けて～（田岡化学）山田正宏 6.前駆体法を利用した芳香族機能性材料の合成研究（京大化研）山田容子 発表件数（ポスター）84 件	164(117)
2024 年度有機合成化学北陸セミナー；9/27-28；黒部市ふれあい交流館あこやーの 1.論より証拠！混ぜてナンボ！（京都府大院生命環境）椿一典 2.低分子化合物の高度化研究：環状ケイ素化合物新規合成法の開発とその生物活性（阪大院薬）有澤光弘 3.日本触媒が有する独自アクリル系モノマーの合成とそれを鍵とするポリマー材料の展開（日本触媒）米原宏司 発表件数（口頭）11 件；（ポスター）76 件	164(125)
シンポジウム【中国・四国支部】	
若手研究者のためのセミナー（第 38 回若手化学者のための化学道場）；9/27-28；国立淡路青少年交流の家（世話人：徳島大学） 【特別指南講演】 基質認識型有機分子触媒の創成～酸触媒から塩基触媒へ～（東北大）寺田眞浩 【師範講演】 1.新規多座ホスフィン配位子を用いた金属触媒の開発（愛媛大）太田英俊 2.錯体化学のアイデアを取り入れた有機エレクトロニクス材料の開発（香川大）田原圭志朗 3.反応機構解析に基づく選択性予測および触媒デザイン（岡山大）山崎賢 4.歯科材料の技術と有機化学と高分子の関わり（高知大）坂本猛 5.ポリアザヘリセンの簡便合成法の開発（阿南高専）大谷卓 6.細胞骨格「微小管」の人工制御を可能とするペプチド設計（鳥取大）稲葉央 7.化学の力で遺伝情報をコードする（徳島大）田良島典子 8.オルガノハロゲンクロミズムの解明と機能性色素材料の創成（広島大）大山陽介 学生発表件数 35 件	76(57)

表 6・5 令和 6 年度事業報告（その 5）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【九州・山口支部】	
第 36 回若手研究者のためのセミナー；8/31；九州大学病院キャンパスコラボ・ステーション I 特別講演 1 件 光誘起電子移動反応を鍵とする NO 放出剤の開発と応用（名市大院薬）中川秀彦 招待講演 1 件 多彩にして多才なカビやキノコの酸化酵素（九大院農）一瀬博文 受賞講演（ポスター賞）9 件；企業紹介 2 件	83(58)
講習会【本部】	
2024 年度 有機合成化学講習会；12/5；ワイム貸会議室御茶ノ水 テーマ：「企業における有機合成化学：理念・製品化・ブレイクスルー」 1.新農薬開発を目指した戦い（日本曹達）三谷晃 2.低中分子医薬品開発におけるプロセス化学の役割と挑戦（中外製薬）前田賢二 3.半導体レジスト材料セルグラフィー(R)の開発と工業化,そしてさらなる分子設計への取り組み（ダイセル）大野充 4.ペプチド・オリゴ核酸医薬の効率的製法 AJIPHASE®技術の開発と CDMO としての事業領域開発（味の素）高橋大輔 共催：日本化学会,日本薬学会,後援：日本農芸化学会	31(0)
「AIと有機合成化学」研究部会 第 13 回勉強会；7/25；ワイム貸会議室お茶の水・オンライン併用 1.大規模言語モデルの実験化学・有機材料化学での活用検討（東工大物質理工）畠山欽 2.化学における AI・シミュレーション活用のトレンドと汎用原子レベルシミュレーター：Matlantis を使った素材開発（Preferred Computational Chemistry）浅野裕介	97(3)
「AIと有機合成化学」研究部会 第 14 回勉強会；10/17；ワイム貸会議室お茶の水・オンライン併用 テーマ「ケモインフォマティクス・ハンズオン講習会」 講師；大上雅史（東京科学大情報理工）；1.講義, 2.実習	73(6)
「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会 第 11 回勉強会；7/23；化学会館 1.光ゲノム編集を可能とする人工核酸の開発と物質共生（東工大生命理工）山吉麻子 2.機能性人工核酸の開発と核酸医薬研究への応用（阪大院薬）小比賀聡 3.受動的細胞膜透過能をもつ生体中分子のデザイン（に向けた試行錯誤）（東大院工）山東信介	41(0)
「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会 第 12 回勉強会；10/7；東北大学青葉山キャンパス 【見学の部】 次世代放射光施設 NanoTerasu（ナノテラス） 【講演の部】 1.放射光で解く機能・構造相関：分子設計への貢献（東北大多元研）南後恵理子 2.RNA 創薬を加速する LNP 技術：細胞内環境に応答する DDS のデザインと応用（東北大院薬）秋田英万 3.生体機能制御を可能とする人工分子の有機合成とその機能評価（東北大多元研）永次史	32(2)
講習会【東北支部】	
青森地区講演会；10/31；弘前大学創立 50 周年記念会館みちのくホール 1.基質認識型有機分子触媒の創製～酸触媒から塩基触媒へ～（東北大院理）寺田眞浩	96(92)
秋田地区講演会；12/4；秋田大学理工学部 4 号館 328 教室 1.新しい重縮合反応による芳香族高分子合成（秋田大院理工）松本和也 2.ステロイド系天然物の合成とその先の展開（岩手大院理工）中崎敦夫	47(44)
講習会【関西支部】	
有機合成 2 月セミナー“有機合成のニュートレンド 2024”；2/5；大阪科学技術センター 1.機能創発を指向した化学空間探索研究（金沢大医薬保健）平野圭一 2.リーシュマニア症の原因寄生虫に効果のある天然物の全合成：歪みのある三員環の構築と応用（京大院農）塚野千尋 3.天然物による翻訳後修飾依存的な蛋白質間相互作用の操作（信州大院農）大神田淳子	61(28)

表 6・6 令和 6 年度事業報告（その 6）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
講習会【関西支部】のつづき	
前ページのつづき 4.フッ素ガスを用いた有機合成による機能性材料の創生（京大院工）秋山みどり 5.セルロース溶解性イオン液体の開発（広栄化学）今泉暁 6.多元素合金触媒を用いた高難度分子変換：低級アルカンと CO₂ の同時活性化（阪大院工）古川森也 7.Synthesis-Enabled Drug Discovery -The Case of Delgocitinib Discovery（JT 医薬総合研）塩崎真	
有機合成夏期セミナー“明日の有機合成化学”；9/3；大阪科学技術センター 1.合成困難・難溶性の克服への挑戦（名大 ITbM）八木亜樹子 2.工業生産に向けた酵素プロセス開発と AI による変革（カネカ）加藤祐章 3.エピジェネティクス制御を目的とした新規化学プローブの創製研究（長崎大生命医）薬師寺文華 4.日本発の柱型環状分子「ピラー[n]アレーン」：機能性分子空間材料への展開（京大院工）生越友樹 5.擬糖鎖の創製：ホンモノそっくりのバッチもんを創り出す科学（九大院薬）平井剛 6.生体内合成化学治療（東工大物質理工）田中克典 7.計算と実験の協働による環境調和型カルボン酸合成技術の高速開発（日本触媒）岡田雅希	70(26)
懇談会【本部】	
2024 新春特別フォーラム；1/17；ワイム貸会議室お茶の水・山の上ホテル 「世界に飛躍する日本の科学技術―産学の明日を考える―」 [第 I 部 講演] 基調講演(1) 富士フィルムの第二の創業と有機合成化学の底力（富士フィルム）柳原直人 基調講演(2) 基礎研究からイノベーションへ（東大院理）菅裕明 [第 II 部 賛詞交換会] 共催：有機合成化学協会関東支部	77(0)
2024 中堅・若手リーダーのための YUGOKAFe[ユウゴウカフェ](講演 & 討論会)；10/4；早稲田大学リサーチイノベーションセンター/コマツ 100 周年記念ホール・会議室 [第 I 部：講演] 1.認知症創薬に懸けた 25 年～襷を繋ぐ使命～（エーザイ）木村禎治 2.素晴らしい仲間たちと一緒にみる果てしない夢（東大院薬）金井求 [第 II 部：グループ討論] [第 III 部：情報交換・交流会]	58(0)
学生のためのセミナー（企業の若手研究者との討論・交流会）・第 9 弾；10/19；オンライン 1.パネラーのプレゼンテーション (1)内田貴久（第一三共），(2)儀間真也（ダイセル），(3)黒内寛明（中外製薬），(4)高見芳恵（三菱ケミカル），(5)高田佳明（富士フィルム），(6)増本優衣（村田製作所） 2.ブレイクアウトルーム懇談会 3.全体総括	76(76)
「ニューモダリティと有機合成化学」第 3 回公開講演会；5/21；大阪科学技術センター 1.生体内合成化学治療（東工大物質理工/理研）田中克典 2.ペプチド-薬物複合体の新展開と有機合成化学の貢献（ペプチドリーム）舩屋圭一 3.バイオマテリアルの定義と今後の可能性について考える（京大院医）田畑泰彦 4.mRNA 関連創薬の理論と実際（Veritas In Silico）中村慎吾	65(5)
「AI と有機合成化学」第 5 回公開講演会；11/13；早稲田大学リサーチイノベーションセンター/コマツ 100 周年記念ホール 1.製造業におけるデータサイエンス・AI の実践活用に向けたスキルアップー Materials Informatics を例にー（日立製作所）高原渉 2.有機合成における化学情報学的手法開発（奈良先端科技大）宮尾知幸 3.自律駆動型研究を支援するソフトウェアの開発と応用事例（物質・材料研究機構(NIMS)）田村亮 4.AI とシミュレーションが駆動する分子設計（東京科学大）大上雅史	118(38)

表 6・7 令和 6 年度事業報告 (その 7)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会【本部】のつづき	
前ページのつづき 5. 情報科学と自動合成ロボットを活用した有機合成化学実験の効率化／自動化／自律化 (北大(ICReDD)) 長田裕也 ・ランチョンセミナー；企業展示 6 社	
懇談会【関東支部】	
有機合成化学ミニシンポジウム①；4/24；東京理科大学 1. 個性的な原子：フッ素を含む化合物の合成 (理研) 袖岡幹子	88(74)
有機合成化学ミニシンポジウム②	中止
有機合成化学ミニシンポジウム③(ミニシンポジウム千葉 2024)；11/22；千葉大学 1. スルフィンアミドの位置選択的変換反応を利用した光学活性硫黄化合物の不斉合成 (東農工大院工) 加納太一 2. 製薬企業における合成 (マルホ) 井上隆幸 3. 分解リサイクル可能なバイオベースポリマーの設計・創製とケミカルリサイクル (都立大院理) 野村琴広	76(52)
有機合成化学ミニシンポジウム④(ミニシンポジウム多摩 2024)；12/14；武蔵野大学 1. 空間的な原子(団)の移動を起点とする分子構築 (東農工大院工) 森啓二 2. 固体触媒開発における有機分子の表面吸着現象の活用 (東京工科大工) 原賢二 3. 天然物合成における 2 つのアプローチ (日大文理) 早川一郎	103(68)
2024 学生シンポジウムーいつでも会える、聞ける、討論できるー；11/9；東京農工大学 1. 立体配座の動的制御による糖質化合物の合成 (東京農大生命科) 若森晋之介 2. 電気を使った有機合成：有機電解合成の可能性 (横浜国大院工) 信田尚毅 3. 高速脱水縮合反応の開発と応用ならびに臨床試験を目指した全合成研究 (東理大理) 椎名勇 4. ケミカルメディシン～化学に基づく新たな医療技術創製～ (東大院薬) 浦野泰照	151(136)
第 19 回有機合成化学談話会(三島セミナー 2024)；12/20-21；東レ三島総合研修センター 1. 物理有機化学へのいざない～機構から反応をリデザインする (第一三共) 折戸裕哉 2. もっと便利に使いたい！ジアソエステルの化学 (工学院大先進工) 安井英子 3. 化学構造に埋め込まれた生物活性を彫り出す (東大院薬) 大和田智彦 ポスター発表 6 件	19(7)
懇談会【東海支部】	
訪日学者講演会；4/22；名古屋大学 Structure modification of natural products to new bioactive analogs (Burapha University, Thailand) Prof. Rungnapha Saeeng	41(36)
訪日学者講演会；6/5；名古屋工業大学 New Tools for Accessing Fluorinated Molecule (Department of Chemistry, The Chinese University of Hong Kong, Hong Kong) Dr. Gavin Chit Tsui	26(21)
訪日学者講演会；7/17；名古屋大学 Cu/Chiral Anionic Ligand-Catalyzed Enantioselective Radical Reactions (SUSTech, China) Prof. Dr. Xin-Yuan LIU	25(18)
訪日学者講演会；9/12；名古屋大学 A Powerful Way to Make Fluorinated Organic Compounds- Hypervalent Iodine Reagents Can (Nankai University, China) Prof. Dr. Chi ZHANG	76(70)
訪日学者講演会；10/16；岐阜薬科大学 Catalytic Precise synthesis of Polydeuterated compounds (Wuhan University) Prof. Wu Li	38(38)
訪日学者講演会；10/16；岐阜薬科大学 ※中止 Highlights from Isotope Chemistry to accelerate Drug Discovery (Sanofi Germany -R&D, Integrated Drug Discovery) Dr. Volker Derdau	中止

表 6・8 令和 6 年度事業報告 (その 8)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会【東海支部】のつづき	
訪日学者講演会；11/12；岐阜薬科大学 Invention of world's top-selling drug (Eliquis) leading to invention of Chan-Lam coupling reaction (Baruch S. Blumberg Institute Philadelphia, USA) Prof. Patrick Y-S. Lam, PhD	32(25)
懇談会【関西支部】	
有機合成新春講演会；1/22；大阪科学技術センター 1. キュバンクネアン-セミフルバレン-AI (京大院工) 松原誠二郎 2. 新奇な構造をもつ有機 π 電子系化合物の合成に魅せられて (兵庫県大院工) 川瀬毅 3. 基質の反応性を利用した新規炭素環ヘテロ環合成反応の開発 (奈良教育大) 山崎祥子	45(1)
セミナー化学千一夜“明日の化学への夢を語ろう”；6/22-23；センチュリーホテル リゾート&スパ テクノポート福井／旭化学工業(株)福井工場 1. リン不斉化合物合成法の課題と有機触媒を活用する新展開への取り組み (早大国際理工セ) 山本佳奈 2. 速度論的制御によりつくられる超分子金属錯体 (名大院工) 酒田陽子 3. 創薬化学現場における自動合成 そして、その少し先に向けて (小野薬品工業) 木下淳 4. 個人型化学製造業の未来予想図 (阪公立大／台湾陽明交通大) 柳日馨 5. 放談会「創薬を意識し環境に優しい精密合成研究に魅了された 57 年」(立命館大総合科学／阪大名誉) 北泰行 6. 見学会「旭化学工業(株)福井工場」 7. 夢から現実！？天然物合成の力で砂漠を緑地化する！(徳島大院薬) 難波康祐	33(4)
懇談会【中国・四国支部】	
有機合成ミニシンポジウム 2024 (香川)；1/27；香川大学 1. エキシマーの立体制御に基づく円偏光発光色素開発 (岡山大) 高石和人 2. 液晶における分極場の形成と光電子・電気化学機能 (香川大) 舟橋正浩 3. 環状オリゴ糖の電解合成 (鳥取大) 野上敏材 4. 有機合成手法による金属錯体の精密合成: 面不斉遷移金属錯体の不斉合成と応用 (徳島大) 小笠原正道	48(34)
第 83 回パネル討論会；5/18；広島大学；「新しい π 共役系の科学」 1. スマネン科学の過去、現在、そして未来 (阪大院工) 櫻井英博 2. Beyond π -conjugation - 分子間の電子共役 (名大院工) 忍久保洋	68(29)
第 84 回パネル討論会；11/8；高知工科大学；「美しき天然物全合成の化学」 1. 環境問題に貢献する天然物合成 (徳島大院医歯薬) 難波康祐 2. 環をつくる: 多環式天然物の合成研究 (名大院創薬科学) 横島聡	71(67)
来日学者講演会；3/8；岡山大学 Mechanisms and the Role of Lewis Acids in Organotransition Metal Catalysis (Mahidol University, Thailand) Prof. Panida Surawatanawong	47(37)
来日学者講演会；3/11；徳島大学 New Tools for Accessing Fluorinated Molecules (The Chinese University of Hong Kong) Prof. Chit Tsui	11(9)
来日学者講演会；3/13；岡山大学 New Tools for Accessing Fluorinated Molecules (The Chinese University of Hong Kong) Prof. Chit Tsui	42(30)
来日学者講演会；4/17；岡山大学 Prototypes of Molecular Motors, Winches and Gears (University Toulouse III Paul Sabatier, France and Nara Institute of Science and Technology, Japan) Prof. Gwénaél Rapenne	52(42)

表 6・9 令和 6 年度事業報告（その 9）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会【中国・四国支部】のつづき	
来日学者講演会；4/18；岡山大学 Glycosidation Reactions for the Synthesis of Bioactive Sugar-Modified Analogs (Burapha University, Thailand) Prof. Rungnapha Saeeng	67(59)
来日学者講演会；4/18；徳島大学 Structure Modification of Natural Products to New Bioactive Analogs (Burapha University, Thailand) Prof. Rungnapha Saeeng	23(17)
来日学者講演会；5/14；岡山大学 Molecular diversity creation through charge-driven reactivity in superacid (University of Poitiers, France) Prof. Sébastien Thibaudau	77(65)
来日学者講演会；5/15；岡山大学 Nickel Phosphite Precatalysts for C-S C-C and C-N Bond Formation (University of Western Australia, Australia) Prof. Scott Stewart	70(61)
来日学者講演会；8/23；広島大学 Mechanistic and Preparative Aspects of the Suzuki-Miyaura Cross-Coupling Reaction (University of Illinois Urbana-Champaign, USA) Prof. Scott E. Denmark	74(64)
来日学者講演会；8/26；広島大学 Facile Access to Chiral Phosphorus Compounds via Transition Metal-catalyzed Asymmetric Hydrophosphination (Hong Kong Baptist University) Prof. Jun (Joelle) Wang	11(6)
来日学者講演会；10/25；岡山大学 Continuous Flow Technology for Innovative Organometallic, Photo-, and Electrochemical Process (The University of Rouen Normandy, France) Dr. Laëticia Chausset-Boissarie	60(51)
第 21 回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム；12/5-6；広島大学 口頭発表 (A) (20 分)、口頭発表 (B) (15 分)；学生発表件数 9 件 主催：ナノ・バイオ・インフォ化学研究会、日本化学会	50(39)
懇談会【九州・山口支部】	
第 1 回有機合成化学講演会；5/24；九州大学病院視聴覚ホール・オンライン併用 1.人工光合成～光触媒を用いたグリーン水素製造～（三井化学）林利生 2.分子骨格内部を探索空間とする新規 π 共役分子の創出（名大院工）福井識人	86(54)
第 61 回化学関連支部合同九州大会；6/29；北九州国際会議場 【有機化学講演】 キラル二官能性有機カルコゲン触媒の開発に至る経緯と展開（長崎大総合生産）白川誠司 招待講演：8 件；ポスター発表 628 件；有機化学 93 件 主催：化学関係九州支部 担当：高分子学会九州支部	-(-)
来日学者講演会；5/10；九州大学筑紫キャンパス 1.New Adventures in Synthesis and Application of Silicon-Stereogenic Silanes (Shenzhen Grubbs Institute and Department of Chemistry, Southern University of Science and Technology) Prof. Chuan He 2.Between Frustration and Cooperation: Ring Formation and Dihydrogen Release in Silicon-Based Systems (Universität Regensburg) Prof. Jonathan O. Bauer	63(47)
見学会	
本部；実施なし	
九州山口支部；(株)同仁化学研究所；9/26	24(6)
公 2 関連会議	
【本部】 有機合成化学協会事業委員会；5 回(3/12,5/10,7/11,10/1,12/9)；化学会館他・オンライン併用 第 124 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；1 回(5/10)；化学会館・オンライン併用 第 125 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；1 回(7/11)；化学会館・オンライン併用	

表 6・10 令和 6 年度事業報告（その 10）

事業の名称および事業の概要		担当機関
公2 関連会議 のつづき		
前ページのつづき 中堅・若手リーダーのための YUGOKAFé 企画委員会；2 回(8/5,9/30)；オンライン 学生のためのセミナー企画委員会；2 回(10/12,10/16)；オンライン 「AI と有機合成化学」研究部会/幹事会；2 回(2/29；オンライン,7/25；ワイム貸会議室)；公開講演会 WG;1 回(8/30；オンライン) 「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会/幹事会；1 回(1/31；化学会館)；勉強会企画会議；1 回(3/27；オンライン)；公開講演会 WG;1 回(2/7；化学会館) 【関東支部】 第 40 回有機合成化学セミナー組織・実行委員会；5 回(5/13,6/20,8/1,8/6,11/11)オンライン併用 学生シンポジウム企画委員会；1 回(7/18；工学院大) 有機合成化学談話会 WG；1 回(7/12；オンライン)		
公3. 表彰事業		
有機合成化学特別賞の選考と受賞者(1 件採択)		
理事による候補者推薦；6～8 月郵便による投票		理事会
理事によって推薦された候補者からの受賞者選考；10/10；オンライン ●中川昌子（千葉大学名誉教授）業績：創薬基礎科学に向けた有機合成化学への貢献 表彰式・受賞講演(R7 年 2/18)		賞選考委員会
有機合成化学協会賞・奨励賞の選考と受賞者(協会賞：3 件；奨励賞：5 件採択)		
各支部推薦委員会；～7 月 奨励賞書面審査；実施 協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会；10/9～10/10；オンライン 【有機合成化学協会賞(学術的なもの)】 ●大熊毅（北海道大学） 業績：独自のルテニウム錯体触媒を用いる不斉水素化反応とシアノ化反応の開拓 ●椎名勇（東京理科大学） 業績：高速脱水縮合法の開発と解析ならびに生体機能性分子創製への応用 【有機合成化学協会賞(技術的なもの)】 ●中島裕美子（東京科学大学） 業績：新規ヒドロシリル化触媒の開発および高機能有機ケイ素材料合成への応用 【有機合成化学奨励賞】 ●太田英介（早稲田大学） 業績：ジルコセンと可視光レドックス触媒を利用した触媒的 σ 結合活性化の開拓 ●菅拓也（金沢大学） 業績：低原子価チタンを用いた不活性 C-O 結合ホモリシスの実現と有機合成反応への応用 ●仙波一彦（京都大学）業績：遷移金属協働触媒による高効率クロスカップリング反応の開発 ●土戸良高（東京理科大学） 業績：Au(I)-C 結合を利用したシクロパラフェニレン類の革新的合成法の開発 ●溝口玄樹（岡山大学）業績：ホウ素アート錯体の特性を活かした分子構築法の開発 表彰式(R6 年 2/15) 受賞講演：協会賞(学術的なもの：R7 年 2/18；技術的なもの：日時未定) 奨励賞(R7 年 9 月)		賞選考委員会
Mukaiyama Award の選考と受賞者(国内および海外各 1 件採択)		
Mukaiyama Award 委員会；2025 受賞者選考委員会 8/7；オンライン ●大松亨介（慶大理工） Contributions: Research led by Ohmatsu has focused on designing ionic molecular catalysts to address challenges in synthetic organic chemistry. By leveraging the unique properties of ionic organic molecules to construct chiral architectures, a novel strategy for catalyst design has emerged, enabling previously difficult asymmetric transformations. The concept of photocatalytic reactivity of ions has created a groundbreaking platform for both innovative reaction development and complex molecule synthesis.		Mukaiyama Award 委員会

表 6・11 令和 6 年度事業報告（その 11）

事業の名称および事業の概要	担当機関
Mukaiyama Award の選考と受賞者(国内および海外各 1 件採択) のつづき	
前ページのつづき ●Guangbin Dong (Department of Chemistry, University of Chicago, USA) Contributions: Research in the Dong group focuses on developing new and synthetically useful transformations. First, his team explores catalytic C-C bond activation as a useful tool for constructing or modifying complex molecular skeletons. Additionally, Dong is a leading contributor to the palladium/norbornene catalysis, which enables site-selective arene functionalizations and carbonyl transposition. Moreover, the Dong group has pioneered new activation modes for functionalizing C-H bonds of carbonyl compounds. Finally, his work in boron chemistry lays the foundation for programmable organic synthesis. 表彰式・受賞講演 ; R7 年 9 月	
Lectureship Award	
【2023 年度 受賞講演会】1/26 ; 大阪科学技術センター／オンライン(Zoom) ; 関西支部 「Recent Adventures in Catalysis and Beyond」Bill Morandi (ETH Zürich, Switzerland) 受賞日 ; R5 年 9/20	57(0)
●Hans Renata (Rice University, USA) Combining Synthetic Chemistry and Biology for Streamlining Access to Complex Molecules 受賞日 ; R6 年 9/19, 表彰式・受賞講演 ; R6 年 9/19 ; 第 40 回有機合成化学セミナー	-(-)
企業冠賞の選考と受賞者(各 1 件、合計 3 件採択) ; 書面審査(郵便 ; ~11/20)	
【東ソー・環境エネルギー賞】 ●鷹谷 絢 (大阪大学) 業績 : 環境調和型分子変換を可能にする新触媒開発 【日産化学・有機合成新反応／手法賞】 ●三浦 智也 (岡山大学) 業績 : 可逆反応と不可逆反応を組み合わせたワンポット反応の開発と機能性分子の創成 【富士フイルム・機能性材料化学賞】 ●吉沢 道人 (東京科学大学) 業績 : 芳香環カプセルを活用した多機能空間材料の開発 表彰式(R7 年 2/18) ; 受賞講演(R7.日時未定)	企業冠賞 選考委員会
高砂香料国際賞「野依賞」関連	
野依賞委員会 ; 2024 受賞者選考委員会 8/7 ; オンライン	
●Thorsten Bach (Professor of Organic Chemistry, School of Natural Sciences and Catalysis Research Center, Technische Universität München) Professor Bach is the pioneer of enantioselective photochemistry and one of the leading experts in the field. He and his group showed successfully that chirality can be introduced by photochemical transformations, both in a stoichiometric and a catalytic sense. By using hydrogen bonding interactions, a temporary chiral confinement was created in which photochemical reactions proceeded with high enantioselectivity. Bach established the use of chiral Lewis acids for catalytic photochemical reactions, and he successfully devised chiral sensitizers as catalysts for visible light-induced asymmetric photochemistry. In recent years, he demonstrated that photochemistry can be employed to convert racemic mixtures into single enantiomers (photochemical deracemization) employing either a selective triplet energy transfer or a reversible hydrogen atom transfer as vehicle to facilitate the counter-thermodynamic process. His creative ideas and his ground-breaking research accomplishments have taken photochemistry to the next level of complexity. 表彰式・受賞講演 ; R7 年 2/18	野依賞 委員会

表 6・12 令和 6 年度事業報告（その 12）

事業の名称および事業の概要		担当機関
支部表彰		
【東北支部】 第 39 回有機合成化学若手研究者の仙台セミナー賞；12/23；東北大学・オンライン併用 15 分講演の部；佐藤瞭（東北大院農），Osama Mohamed（東北大院薬） ショートトークの部；菅野雄亮（東北大院薬），宮内元睦（東北大院工）		-(-)
【関西支部】 第 22 回（2024 年度）有機合成化学協会関西支部賞（受賞者の選出） 1.ロジウム触媒 C-C 結合形成反応を鍵としたヘテロ環の構築と含フッ素ヘテロ環の薬学的応用（摂南大薬）佐藤和之 2.ヘテロ元素を活用した安定な開殻 π 電子系分子の合成と機能展開（滋賀県大工）加藤真一郎 3.n 型有機半導体材料を指向した π 共役ネットワークの短段階合成と物性解明（阪工大工）村田理尚		-(-)
【中国・四国支部】 有機合成化学特別講演会「支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会」；11/9；岡山大学 1.支部奨励賞受賞講演； 対アニオンの構造に着目した配位重合触媒系の開発（広島大）田中亮 2.特別招待講演 樹脂分解触媒の開発とケミカルリサイクルへの展開（東大）野崎京子		86(52)
【九州・山口支部】 第 34 回万有福岡シンポジウム；5/25；九州大学；支部ポスター賞（2 名） 主催：万有福岡シンポジウム組織委員会		-(-)
【九州・山口支部】 支部各賞選考委員会；5/23；九大・オンライン併用 第 2 回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式；9/25；熊本大・オンライン併用 奨励賞：2 件 1.アルキンの特性を活用した効率的分子変換法の開発と機能性分子の創製（九大先導研）河崎悠也 2.ハロゲン元素の酸化還元特性を基盤とした酸化的分子変換法の開発（長崎大院医歯薬）山本耕介 優秀論文賞：1 件 3.連結部編集による新規擬糖鎖の創生戦略（九大院薬）寄立麻琴 招待講演：2 件 4.分子設計で挑む有機伝導体の新物質群創製と機能開拓（熊本院先端科学）上田顕 5.分析試薬と有機化学（同仁化学研究所）石山宗孝		77(37)
他 1・共益事業		
ゆうごう会		
ゆうごう会（東京；大阪）		中止
海外視察団派遣		
海外視察団派遣；実施なし		
技術アドバイス事業		
技術アドバイス事業；申請なし		
研究企画賞		
研究企画賞選考委員会；11/15；オンライン；23 件採択		研究企画賞 選考委員会
●味の素研究企画賞：森崎一宏（北海道大学） 不斉触媒を用いずに天然 L-アミノ酸から α 位四置換非天然アミノ酸を不斉合成する新手法の開発 ●カネカ研究企画賞：河内元希（東北大学） 有機分子触媒を用いた真菌感染症治療薬 Amphotericin B の合成と腎毒性の低減した誘導体の探索 ●関東化学研究企画賞：Li Feng（北海道大学） セルロース由来原料を用いた循環型機能性多糖類材料の開発 ●コニカミルタ研究企画賞：服部倫弘（中部大学） シラサイクリック化合物を基軸とした収束型オリゴペプチド合成と触媒的ペプチド環化反応の確立		

表 6・13 令和 6 年度事業報告（その 13）

事業の名称および事業の概要		担当機関
研究企画賞のつづき		
前ページのつづき ●塩野義製薬研究企画賞：岡本一央（富山大学） イナミンの電気化学的活性化に基づく小・中員環 sp^3 骨格の直接的合成 ●四国化成工業研究企画賞：増田侑亮（北海道大学） ビニル化トリアダマンチルホスフィンの合成と利用 ●第一三共研究企画賞：小嶺敬太（長崎大学） 脳卒中による重篤な後遺症を防ぐリード天然物の創薬展開を志向した高効率かつ網羅的合成 ●ダイセル研究企画賞：有地法人（京都大学） 可視光誘起エネルギー移動により生成する三重項ナイトレンの新規反応性の開拓 ●田辺三菱製薬研究企画賞：東田皓介（京都大学） アルキンの触媒的変換反応における触媒量の極小化を目指した新規金錯体触媒の開発 ●中外製薬研究企画賞：松本晃（金沢大学） イリド構造を基盤とするデザイン型ラジカル触媒の創製と立体化学編集法の開発 ●DIC 研究企画賞：森達哉（名古屋大学） 励起状態における配位数変化に立脚した三配位ホウ素 π 電子系の円偏光機能開拓 ●帝人ファーマ研究企画賞：齊藤誠（微生物化学研究会） ピンサー型ニッケル錯体を触媒に用いた新規光学活性フルオロシクロプロパン合成法の開発 ●東ソー研究企画賞：佐藤亮太（徳島大学） 可視光スイッチング連続反応」を利用した含窒素 π 共役系の迅速拡張法の開発とその応用 ●東ソー・ファインケム研究企画賞：田湯正法（明治薬科大学） 光レドックス反応で生じるスルフィドラジカルカチオンを利用した生体共役反応の開発 ●日本触媒研究企画賞：田中耕作三世（北海道大学） パーチャルホスフィン配位子法が先導する高活性光励起パラジウム化学の開拓 ●日本農薬研究企画賞：安井基博（京都工芸繊維大学） アゾール類の付加環化反応に基づく新奇ヘテロ環合成 ●富士フイルム研究企画賞：阿野勇介（近畿大学） カルバニオンの触媒的発生を利用したレアメタルフリー C-H 官能基化法の開発 ●富士フイルム和光純薬研究企画賞：鳥越尊（京都工芸繊維大学） 触媒設計が拓く医薬品のアルキル基修飾 ●保土谷化学工業研究企画賞：吉野達彦（京都大学） Non-Directed C-H 活性化のための新規触媒開発 ●三井化学研究企画賞：前島咲（京都大学） 光触媒からのエネルギー移動を利用した三重項 - 低原子価化学種の発生法の開発 ●三菱ガス化学研究企画賞：山本浩司（就実大学） 高輝度な円偏光発光材料を志向した BN ヘリセンの網羅的合成と構造-物性相関の解明 ●三菱ケミカル研究企画賞：加藤研一（京都大学） 掌性と高い対称性を併せ持つ立体 π 骨格の合成効率化とキラル構成単位への展開 ●Meiji Seika ファルマ研究企画賞：小椋章弘（慶應義塾大学） アザ-オキサ Cope 転位を駆使する分野横断的な自在な複素環合成戦略	研究企画賞 選考委員会	
法人運営関連会議		
本部関連		
第 87 回通常総会(定期社員総会；2/15；如水会館)		
運営委員会・理事会(1/26, 2/15, 4/18, 6/18, 9/6, 12/4)；化学会館,如水会館,ワイルド会議室・オンライン併用		
内閣府公益認定等委員会立入検査(11/27)；化学会館		
令和 7 年度役員候補者選出委員会(10/25)；オンライン		

表 6・14 令和 6 年度事業報告（その 14）

事業の名称および事業の概要	担当機関
支部関連 【全支部】 支部キャラバン(会長訪問・意見交換会)：隔年実施 東北 6/8；関東 10/22；九州山口 5/24（未実施；北海道，東海，関西，中国四国） 【北海道支部】 幹事会；1 回（7/13；北海道大学） 【関東支部】 支部常任幹事会；4 回(4/24, 7/9, 10/22, 12/17)オンライン併用、支部幹事会；2 回(4/24, 10/22)オンライン併用 関東支部候補者推薦委員会；7/9；オンライン併用 協会賞等支部推薦委員会；7/9；オンライン併用 【東海支部】 常任幹事会(2/17；名古屋・オンライン),支部奨励賞選考委員会(5 月；メール会議),協会賞等支部推薦委員会(7 月；メール会議),支部総会(11/2；名古屋工業大学) 【関西支部】 幹事会；4 回（4/2, 5/29, 11/27；大阪科学技術センター, 7/30；(株)日本触媒 吹田地区研究所) 【中国・四国支部】 幹事会・懇話会合同会議；2 回（5/18 広島大, 11/9 岡山大） 【九州・山口支部】 事務引継会（2/5 九州大・オンライン併用） 幹事会；2 回（5/24 九州大・オンライン併用, 9/25 熊本大・オンライン併用）	

事業報告附属明細書

令和 6 年度事業報告には「一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

次頁へ続く

報告 2 令和 7 年度事業計画

令和 7 年度の編集・出版、研究会および表彰の各事業計画について、以下のとおり報告する。

表 7・1 令和 7 年度事業計画（その 1）

事業の名称・事業の概要	主催	共催・協賛
公 1・編集出版事業		
有機合成化学協会誌 83巻第1～12号(12冊)、発行部数4,200部／月、年間総ページ1,200 普通号10回；特集号 2回 第 5号「有機合成化学の力を活かした構造有機化学のフロンティア」 第11号 Special Issue in English	本部	
単行本の編集・出版 「有機化学実験の手引き／1988年出版・化学同人」 有機合成化学協会 編；(株)化学同人 改定刊行	本部	
公 1 関連会議 有機合成化学協会誌編集委員会(日時未定；6回) 出版委員会(日時未定；3回)	本部 本部	
公 2・研究会事業		
シンポジウム 第126回有機合成シンポジウム(6月26-27日；京都大学薬学部藤多記念ホール) 第127回有機合成シンポジウム(11月6-7日；早稲田大学国際会議場) 万有札幌シンポジウム(7月・北海道大学工学部) 日本化学会北海道支部夏季研究発表会(日時・場所未定) 若手研究者のための有機化学札幌セミナー(11月；場所未定) 仙台地区春の講演会(5月または6月；場所未定) 若手研究者のための仙台セミナー(11月または12月；場所未定) 第41回有機合成化学セミナー (9月24-26日；福島県；郡山市立中央公民館・郡山公会堂) 万有仙台シンポジウム(5月；東北大学川内キャンパス予定) 化学系学協会東北大会(9月；山形大学米沢キャンパス) 有機コロキウム(9月；学協会東北大会と併催) 第88回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(工学院大シンポジウム) (5月17日；工学院大学新宿キャンパス) 第89回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(新津シンポジウム) (11月29-30日；新潟薬科大学新津東キャンパス) 有機合成化学ミニシンポジウム①(4月23日；東京理科大学記念講堂) 有機合成化学ミニシンポジウム②(日時未定；千葉大学) 有機合成化学ミニシンポジウム③(日時未定；多摩地区) 2025年度学生シンポジウム(日時・場所未定) 若手研究者のためのセミナー(8月23日；東京科学大学(湯島)M&Dタワー) 有機合成セミナー(6月；場所未定) 有機合成化学総合講演会(12月；三重地区) 若手研究者のためのセミナー(7月；愛知地区) 第56回中化連秋季大会(日時未定；岐阜大学) 第56回中化連秋季大会特別討論会(日時未定；岐阜大学) 有機合成北陸セミナー(10月上旬頃；福井) 若手研究者のためのセミナー(第39回若手化学者のための化学道場) (世話人：愛媛大学；日時・場所未定) 第37回若手研究者のためのセミナー (8月；九州大学病院キャンパスコラボ・ステーション I)	本部 本部 他学会 他学会 北海道支部 東北支部 東北支部 東北支部 他学会 他学会 他学会 関東支部 関東支部 関東支部 関東支部 関東支部 関東支部 東海支部 東海支部 東海支部 他学会 他学会 関西支部 中国四国支部 九州山口支部	北海道支部 北海道支部 本部 東北支部 東北支部 東北支部

表 7・2 令和 7 年度事業計画 (その 2)

事業の名称・事業の概要	主催	共催・協賛
公 2・研究会事業(つづき)		
講習会		
2025年度前期有機合成化学講習会(日時・場所未定)	本部	
2025年度後期有機合成化学講習会(日時・場所未定)	本部	
「AIと有機合成化学」研究部会：勉強会2回(第15回、第16回；日時・場所未定)	本部	
「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会：勉強会2回 (第13回、第14回；日時・場所未定)	本部	
山形地区講演会(日時・場所未定)	東北支部	
福島地区講演会(日時・場所未定)	東北支部	
有機合成睦月セミナー(1月29-30日；大阪科学技術センター)	関西支部	
有機合成夏期セミナー“明日の有機合成化学”(8月下旬頃・場所未定)	関西支部	
懇談会		
有機合成化学懇談会(日時・場所未定)	本部	関東支部
2025新春特別フォーラム(1月21日；東京ガーデンパレス)	本部	
中堅・若手リーダーのためのYUGOKAF e(講演&討論会)：(日時・場所未定)	本部	
「AIと有機合成化学」公開講演会(日時・場所未定)	本部	
「ニューモダリティと有機合成化学」公開講演会(日時・場所未定)	本部	
学生のためのセミナー(企業の若手研究者との討論・交流会)第10弾(日時・場所未定)	本部	
海外・国内化学者講演会(3回；日時・場所未定)	北海道支部	
第20回有機合成化学談話会(三島セミナー) (日時未定；東レ(株)総合研修センター)	関東支部	
訪日学者講演会(10件；日時・場所未定)	東海支部	
セミナー化学千一夜“明日の化学への夢を語ろう”(6月頃・場所未定)	関西支部	
第85回パネル討論会(5月；岡山大学)	中国四国支部	
第86回パネル討論会または有機合成ミニシンポジウム2025(日時・場所未定)	中国四国支部	
来日学者講演会(10件；随時)	中国四国支部	
第22回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム(日時未定；広島大学)	他学会	中国四国支部
第1回有機合成化学講演会 (6月6日；九州大学病院キャンパス・ハイブリッド開催)	九州山口支部	
第62回化学関連支部合同九州大会(7月5日；北九州国際会議場)	他学会	九州山口支部
来日学者講演会(最大4件)	九州山口支部	
見学会		
有機合成見学会(日時・場所未定)	本部	
2025秋の見学会(日時未定；理化学研究所(和光))	関東支部	
有機合成見学会(福岡地区；10月；三井化学(株))	九州山口支部	
公 2 関連会議		
事業委員会(日時未定；5回)	本部	
有機合成化学シンポジウムプログラム編成会議(2回)	本部	
有機合成化学講習会企画委員会(2回)	本部	
その他本部事業関連・研究部会関連委員会	本部	
有機合成化学談話会(三島セミナー)企画委員会(日時未定；1回)	関東支部	

表 7・3 令和 7 年度事業計画（その 3）

事業の名称・事業の概要	担当組織
公 3. 表彰事業	
有機合成化学特別賞関連 理事による予備投票(6～8月郵便)；委員会による選考(10月)	協会賞等選考委員会
有機合成化学協会賞・奨励賞関連 各支部推薦委員会(～7月) 協会賞(技術)・奨励賞書面審査(7月；郵便) 協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会(10月)	各支部 協会賞等選考委員会 協会賞等選考委員会
Mukaiyama Award関連会議 Mukaiyama Award委員会(選考委員会)	Mukaiyama Award委員会
企業冠賞関連 東ソー「環境エネルギー賞」書面審査(郵便) 日産化学「有機合成新反応/手法賞」書面審査(郵便) 富士フイルム「機能性材料化学賞」書面審査(郵便) 令和6年度企業冠賞講演会(2024年度受賞講演)(日時・場所未定)	左記選考委員会 左記選考委員会 左記選考委員会 本部
高砂香料国際賞「野依賞」関連 野依賞委員会(選考委員会)	野依賞委員会
支部表彰 第23回関西支部賞(日時・場所未定) 有機合成化学特別講演会(支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会) (11月；広島大学) 支部各賞選考委員会(6月；九州大学) 第35回万有福岡シンポジウム(6月7日；九州大学病院キャンパス) 第2回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式 (10月；福岡地区・三井化学㈱)；ハイブリッド開催予定)	関西支部 中国四国支部 九州山口支部 他学会・九州山口支部 九州山口支部
他 1 (共益事業)	
技術アドバイス事業	本部
ゆうごう会(日時未定；東京、大阪各1回)	本部
海外視察団派遣(日時・場所未定)	本部
研究企画賞 研究企画賞選考委員会	研究企画賞選考委員会
法人運営関連会議	
本部関連 第88回通常総会(定期社員総会；2月18日) 運営委員会、理事会、理事会分科会(1,2,4,6,9,12月) 令和8年度役員候補者選出委員会(10月) 第1回幹事会(7月1日；北海道大学) 第2回幹事会(11月；場所未定) 第1回常任幹事会・第1回幹事会(4月23日；東京理科大学神楽坂キャンパス) 第2回常任幹事会(7月；場所未定) 第3回常任幹事会・第2回幹事会(10月；場所未定) 第4回常任幹事会(12月；場所未定) 協会賞等支部推薦委員会(7月；場所未定)	本部 本部 本部 北海道支部 北海道支部 関東支部 関東支部 関東支部 関東支部 関東支部

表 7・4 令和 7 年度事業計画（その 4）

事業の名称・事業の概要	担当組織
法人運営関連会議(つづき)	
支部関連 常任幹事会(2月；名古屋) 支部総会(日時未定；岐阜大学) 支部奨励賞選考委員会(4月；メール会議) 協会賞等支部推薦委員会(日時未定；メール会議) 第1回幹事会(3月上旬頃、場所未定) 第2回幹事会(4月下旬頃、場所未定) 第3回幹事会(7月中旬頃、場所未定) 第4回幹事会(11月頃、場所未定) 2025年度第1回幹事会・懇話会合同会議(5月；岡山大学) 2025年度第2回幹事会・懇話会合同会議(11月；広島大学) 事務引継会(2月；九州大学病院キャンパス；ハイブリッド開催) 第1回幹事会(6月6日；九州大学病院キャンパス；ハイブリッド開催) 第2回幹事会(10月；福岡地区・三井化学㈱；ハイブリッド開催予定)	東海支部 東海支部 東海支部 東海支部 関西支部 関西支部 関西支部 関西支部 中国四国支部 中国四国支部 九州山口支部 九州山口支部 九州山口支部

報告 3 令和 7 年度収支予算

令和 7 年度収支予算について、以下のとおり報告する。

- 1) 受取会費 前年予算比▲1,540 千円：実情に合わせて計上
- 2) 研究会事業収益/費用 前年予算比▲4,913 千円/▲6,173 千円：実情に合わせて計上
- 3) 雑費(IT 関連費) 前年予算比+ 1,053 千円：実情に合わせて計上
- 4) 退職給付費用(積立金) 2,838 千円：必要額満額を計上

次頁へつづく

表 8・1 令和 7 年度正味財産増減予算書

令和7年1月1日から令和7年12月31日まで

(単位：円)

科 目	令和7年度 A	【参考】令和6年度		増減 D A-B	増減 E A-C
		予算 B	決算 C		
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
【特定資産運用益】					
特定資産受取利息	801,000	801,000	863,025	0	▲ 62,025
退職給付特定資産受取利息	500	1,000	633	▲ 500	▲ 133
【受取会費】					
正会員受取会費	61,554,180	63,094,550	60,038,000	▲ 1,540,370	1,516,180
【事業収益】					
編集出版事業収益	12,322,000	12,888,000	12,209,153	▲ 566,000	112,847
研究会事業収益	28,692,000	33,605,000	25,868,240	▲ 4,913,000	2,823,760
表彰事業収益	5,300,000	5,300,000	6,700,000	0	▲ 1,400,000
【受取寄付金】					
受取寄付金	5,330,000	5,410,000	6,367,518	▲ 80,000	▲ 1,037,518
【雑収益】					
受取利息	2,588	2,327	6,131	261	▲ 3,543
雑収益	50,000	50,000	0	0	50,000
懇親会参加料収益	3,757,000	4,145,000	3,931,000	▲ 388,000	▲ 174,000
経常収益計	117,809,268	125,296,877	115,983,700	▲ 7,487,609	1,825,568
(2) 経常費用					
【事業費および管理費】					
編集出版事業費	24,410,669	24,760,289	23,631,096	▲ 349,620	779,573
研究会事業費	32,454,260	38,627,034	30,312,937	▲ 6,172,774	2,141,323
表彰事業費	11,008,877	12,215,277	11,364,268	▲ 1,206,400	▲ 355,391
給料手当	24,344,207	23,793,764	23,783,993	550,443	560,214
アルバイト費	2,630,000	2,600,000	2,661,602	30,000	▲ 31,602
退職給付費用	2,837,604	2,465,861	2,465,861	371,743	371,743
その他人件費（福利厚生費）	5,386,000	5,660,000	5,046,512	▲ 274,000	339,488
会議費	1,241,000	1,103,000	1,152,157	138,000	88,843
旅費交通費	2,485,000	3,382,000	1,680,837	▲ 897,000	804,163
通信費	1,096,500	1,096,500	542,166	0	554,334
什器備品費	200,000	200,000	32,560	0	167,440
事務用品・リース費	2,000,000	2,000,000	1,492,435	0	507,565
水道光熱費	290,000	290,000	192,272	0	97,728
事務所賃借料	4,928,988	4,928,988	4,928,993	0	▲ 5
諸謝金	1,200,000	1,200,000	1,210,000	0	▲ 10,000
懇親会費	6,370,000	6,090,000	7,737,958	280,000	▲ 1,367,958
雑費（税・手数料・会費・IT）	7,946,100	6,892,700	8,673,577	1,053,400	▲ 727,477
経常費用計	130,829,205	137,305,413	126,909,224	▲ 6,476,208	3,919,981
当期経常増減額	▲ 13,019,937	▲ 12,008,536	▲ 10,925,524	▲ 1,011,401	▲ 2,094,413
2. 経常外増減の部					
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
一般正味財産増減額	▲ 13,019,937	▲ 12,008,536	▲ 10,925,524	▲ 1,011,401	▲ 2,094,413
一般正味財産期首残高	275,113,074	286,038,598	286,038,598	▲ 10,925,524	▲ 10,925,524
一般正味財産期末残高	262,093,138	274,030,062	275,113,074	▲ 11,936,925	▲ 13,019,937
II 指定正味財産増減の部					
【特定資産運用益】野依賞基金					
特定資産受取利息	70	70	319	0	▲ 249
受取寄付金	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	0
一般正味財産への振替額	▲ 4,000,000	▲ 4,000,000	▲ 3,306,305	0	▲ 693,695
当期指定正味財産増減額	70	70	694,014	0	▲ 693,944
指定正味財産期首残高	6,951,061	6,257,047	6,257,047	694,014	694,014
指定正味財産期末残高	6,951,131	6,257,117	6,951,061	694,014	70
【特定資産運用益】Mukaiyama Award基金					
特定資産受取利息	70	70	465	0	▲ 395
受取寄付金	1,000,000	1,000,000	1,760,000	0	▲ 760,000
一般正味財産への振替額	▲ 1,200,000	▲ 1,200,000	▲ 1,378,735	0	178,735
当期指定正味財産増減額	▲ 199,930	▲ 199,930	381,730	0	▲ 581,660
指定正味財産期首残高	4,817,861	4,436,131	4,436,131	381,730	381,730
指定正味財産期末残高	4,617,931	4,236,201	4,817,861	381,730	▲ 199,930
III 正味財産期末残高	273,662,200	284,523,380	286,881,996	▲ 10,861,181	▲ 13,219,797

表 8・2 令和 7 年度正味財産増減予算書内訳表(1 / 2)

(令和7年1月1日から令和7年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1 編集・出版	公2 研究会	公3 表 彰	公益事業共通			
【一般正味財産増減の部】							
1. 経常増減の部							
経常収益計	12,322,500	26,432,500	10,200,000	48,627,802	5,336,625	14,889,840	117,809,268
特定資産運用益	500	500	800,000	0	0		801,000
編集出版特定資産受取利息	500						
研究会特定資産受取利息		500					
表彰特定資産受取利息			800,000				
退職特定資産受取利息	0	0	0	0	0	500	500
受取会費				48,627,802	1,846,625	11,079,752	61,554,180
個人会員費受取会費				25,258,275	959,175	5,755,050	31,972,500
法人会員費受取会費				21,306,300	809,100	4,854,600	26,970,000
団体会員費受取会費				126,400	4,800	28,800	160,000
学生会員費受取会費				1,936,827	73,550	441,302	2,451,680
事業収益	12,322,000	26,302,000	4,200,000	0	3,490,000		46,314,000
編集出版事業収益	12,322,000						12,322,000
会誌事業収益	3,105,000						3,105,000
広告事業収益	8,526,000						8,526,000
別冊事業収益	35,000						35,000
会誌関係雑収益	50,000						50,000
単行本印税収益	60,000						60,000
複写権使用料収益	546,000						546,000
研究会事業収益		26,302,000			2,390,000		28,692,000
シンポジウム事業収益		15,490,000					15,490,000
講習会事業収益		5,760,000					5,760,000
懇談会事業収益		4,802,000			240,000		5,042,000
見学会事業収益		250,000			2,150,000		2,400,000
表彰事業収益			4,200,000	0	1,100,000		5,300,000
企業冠賞事業収益			4,200,000	0			4,200,000
研究企画賞事業収益					1,100,000		1,100,000
その他表彰事業収益							0
寄付金収益		130,000	5,200,000	0		0	5,330,000
受取寄付金		130,000	5,200,000	0			5,330,000
雑収益		0				3,809,588	3,809,588
受取利息		0				2,588	2,588
雑収益		0				50,000	50,000
懇親会参加料収益						3,757,000	3,757,000
経常費用	42,115,886	52,182,451	16,195,750		5,182,338	15,152,780	130,829,205
事業費	42,115,886	52,182,451	16,195,750		5,182,338		115,676,425
編集出版事業費	24,410,669						24,410,669
印刷製本費	11,645,990						11,645,990
用紙費	3,550,491						3,550,491
原稿料・校正費	546,000						546,000
編集費	747,100						747,100
送達費	6,814,493						6,814,493
別冊作成費	226,800						226,800
電子出版費	879,795						879,795
研究会事業費		30,055,760			2,398,500		32,454,260
シンポジウム費		17,812,200					17,812,200
講習会費		3,677,960					3,677,960
懇談会費		4,751,000			248,500		4,999,500
見学会事業費		250,000			2,150,000		2,400,000
研究会諸費		158,600					158,600
事務委託費		3,196,000					3,196,000
支払寄付金		210,000					210,000
表彰事業費			10,884,377		124,500		11,008,877
表彰事業費			2,055,377				2,055,377
企業冠賞費用			3,629,000				3,629,000
研究企画賞費					124,500		124,500
国際賞費用			4,000,000				4,000,000
Mukaiyama Award事業費			1,200,000				1,200,000
給料手当	8,518,038	9,737,683	2,434,421		1,219,645		21,909,786
アルバイト費	1,022,544	1,168,772	292,193		146,491		2,630,000
退職給付費用	992,878	1,135,042	283,760		142,164		2,553,844
その他人件費（福利厚生費）	1,884,561	2,154,400	538,600		269,839		4,847,400
会議費	240,000	360,000	80,000		40,000		720,000
旅費交通費	300,000	450,000	100,000		50,000		900,000
通信費	288,000	432,000	96,000		48,000		864,000
什器備品費	60,000	90,000	20,000		10,000		180,000
事務用品・リース費	600,000	900,000	200,000		100,000		1,800,000
水道光熱費	87,000	130,500	29,000		14,500		261,000
事務所賃借料	1,478,696	2,218,045	492,899		246,449		4,436,089
雑費（税・手数料・会費・IT）	2,233,500	3,350,250	744,500		372,250		6,700,500

表 8・3 令和 7 年度正味財産増減予算書内訳表(2/2)

(令和7年1月1日から令和7年12月31日まで)

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公 1 編集・出版	公 2 研究会	公 3 表 彰	公益事業共通			
管理費						15,152,780	15,152,780
給料手当						2,434,421	2,434,421
退職給付費用						283,760	283,760
その他人件費 (福利厚生費)						538,600	538,600
懇親会費用						6,370,000	6,370,000
会議費						521,000	521,000
旅費交通費						1,585,000	1,585,000
通信費						232,500	232,500
什器備品費						20,000	20,000
事務用品・リース費						200,000	200,000
水道光熱費						29,000	29,000
事務所賃借料						492,899	492,899
諸謝金						1,200,000	1,200,000
雑費 (税・手数料・会費・IT)						1,245,600	1,245,600
当期経常増減額	▲ 29,793,386	▲ 25,749,951	▲ 5,995,750	48,627,802	154,288	▲ 262,940	▲ 13,019,937
2. 経常外増減の部							
経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
計上外費用	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
3. 一般正味財産増減額							
一般正味財産期首残高							275,113,074
一般正味財産期末残高							262,093,138
当期一般正味財産増減額							▲ 13,019,937
【指定正味財産増減の部】							
1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金							
指定正味財産運用益			70				70
特定資産受取利息			70				70
受取寄付金			4,000,000				4,000,000
一般正味財産への振替額			▲ 4,000,000				▲ 4,000,000
指定正味財産期首残高			6,951,061				6,951,061
指定正味財産期末残高			6,951,131				6,951,131
2. Mukaiyama Award基金							
指定正味財産運用益			▲ 199,930				▲ 199,930
特定資産受取利息			70				70
受取寄付金			1,000,000				1,000,000
一般正味財産への振替額			▲ 1,200,000				▲ 1,200,000
指定正味財産期首残高			4,817,861				4,817,861
指定正味財産期末残高			4,617,931				4,617,931
【正味財産期末残高】							
正味財産期末残高							273,662,200

報告 4 永年会員認定者

定款第 5 条第 4 項および会員規程第 4 条の定めにより、普通会员(個人)として連続 20 年以上在籍し、年齢 75 歳に達した者は、75 歳の誕生日以後最初に開催される通常総会における報告をもって永年会員として認定する。以下の該当者を令和 7 年度より適用する (入会順 ; 敬称略)。

橋本 俊一 関根 光雄 北谷 克司 和田 英治 吉田 正人
長 秀連 笹岡 三千雄 今井 敏郎 村岡 修 橋本 俊彦

以上 10 名

その他議案があれば挙手の上ご報告ください。

以上

(単位：円)

付表1 令和6年度決算の構成

科 目		連結	本部	支部合計	支部会計					中国・四国	九州・山口
					北海道	東北	関東	東海	関西		
1	I 一般正味財産増減の部										
2	1. 経常増減の部										
3	(1) 経常収益										
4	【特定資産運用益】 特定資産受取利息	863,025	863,025								
5	【退職給付特定資産運用益】 正会員受取会費	60,038,000	60,038,000								
6	【事業収益】 編集出版事業収益	12,209,153	12,209,153								
7	【事業収益】 表彰事業収益	25,868,240	7,693,000								
8	【受取寄付金】 受取寄付金	6,700,000	6,700,000								
9	【雑収益】 雑収益	6,367,518	4,925,040								
10	【雑収益】 受取利息	6,131	3,236								
11	【雑収益】 受取利息	3,931,000	1,921,000								
12	【雑収益】 受取利息	115,983,700	94,353,087								
13	【雑収益】 受取利息	23,631,096	23,631,096								
14	【雑収益】 受取利息	27,010,649	4,988,139								
15	【雑収益】 受取利息	3,122,288	180,000								
16	【雑収益】 受取利息	180,000	253,364								
17	【雑収益】 受取利息	11,364,268	11,110,904								
18	【雑収益】 受取利息	23,783,993	23,783,993								
19	【雑収益】 受取利息	2,661,602	2,661,602								
20	【雑収益】 受取利息	5,046,512	5,046,512								
21	【雑収益】 受取利息	2,465,861	2,465,861								
22	【雑収益】 受取利息	7,737,958	4,634,031								
23	【雑収益】 受取利息	1,152,157	715,309								
24	【雑収益】 受取利息	1,680,837	517,198								
25	【雑収益】 受取利息	542,166	484,752								
26	【雑収益】 受取利息	32,560	32,560								
27	【雑収益】 受取利息	1,492,435	1,492,435								
28	【雑収益】 受取利息	192,272	192,272								
29	【雑収益】 受取利息	4,928,993	4,928,993								
30	【雑収益】 受取利息	1,210,000	1,210,000								
31	【雑収益】 受取利息	8,673,577	8,090,569								
32	【雑収益】 受取利息	126,909,224	95,986,226								
33	【雑収益】 受取利息	▲ 10,925,524	▲ 1,633,139								
34	【雑収益】 受取利息	▲ 10,925,524	▲ 1,633,139								
35	【雑収益】 受取利息	0	0								
36	【雑収益】 受取利息	0	0								
37	【雑収益】 受取利息	0	0								
38	【雑収益】 受取利息	0	0								
39	【雑収益】 受取利息	0	0								
40	【雑収益】 受取利息	0	0								
41	【雑収益】 受取利息	0	0								
42	【雑収益】 受取利息	0	0								
43	【雑収益】 受取利息	0	0								
44	【雑収益】 受取利息	0	0								
45	【雑収益】 受取利息	0	0								
46	【雑収益】 受取利息	0	0								
47	【雑収益】 受取利息	0	0								
48	【雑収益】 受取利息	0	0								
49	【雑収益】 受取利息	0	0								
50	【雑収益】 受取利息	0	0								
51	【雑収益】 受取利息	▲ 10,925,524	▲ 5,676,139								
52	【雑収益】 受取利息	286,038,598	241,217,896								
53	【雑収益】 受取利息	275,113,074	235,541,757								
54	【雑収益】 受取利息	319	319								
55	【雑収益】 受取利息	4,000,000	4,000,000								
56	【雑収益】 受取利息	▲ 3,306,305	▲ 3,306,305								
57	【雑収益】 受取利息	694,014	694,014								
58	【雑収益】 受取利息	6,257,047	6,257,047								
59	【雑収益】 受取利息	6,951,061	6,951,061								
60	【雑収益】 受取利息	465	465								
61	【雑収益】 受取利息	1,760,000	1,760,000								
62	【雑収益】 受取利息	▲ 1,378,735	▲ 1,378,735								
63	【雑収益】 受取利息	381,730	381,730								
64	【雑収益】 受取利息	4,436,131	4,436,131								
65	【雑収益】 受取利息	4,817,861	4,817,861								
66	【雑収益】 受取利息	286,881,996	247,310,679								
67	【雑収益】 受取利息	▲ 1,378,735	▲ 1,378,735								
68	【雑収益】 受取利息	381,730	381,730								
69	【雑収益】 受取利息	4,436,131	4,436,131								
70	【雑収益】 受取利息	4,817,861	4,817,861								
71	【雑収益】 受取利息	286,881,996	247,310,679								
72	【雑収益】 受取利息	▲ 1,378,735	▲ 1,378,735								
73	【雑収益】 受取利息	381,730	381,730								
74	【雑収益】 受取利息	4,436,131	4,436,131								
75	【雑収益】 受取利息	4,817,861	4,817,861								
76	【雑収益】 受取利息	286,881,996	247,310,679								
77	【雑収益】 受取利息	▲ 1,378,735	▲ 1,378,735								
78	【雑収益】 受取利息	381,730	381,730								
79	【雑収益】 受取利息	4,436,131	4,436,131								
80	【雑収益】 受取利息	4,817,861	4,817,861								
81	【雑収益】 受取利息	286,881,996	247,310,679								
82	【雑収益】 受取利息	▲ 1,378,735	▲ 1,378,735								
83	【雑収益】 受取利息	381,730	381,730								
84	【雑収益】 受取利息	4,436,131	4,436,131								
85	【雑収益】 受取利息	4,817,861	4,817,861								
86	【雑収益】 受取利息	286,881,996	247,310,679								
87	【雑収益】 受取利息	▲ 1,378,735	▲ 1,378,735								
88	【雑収益】 受取利息	381,730	381,730								
89	【雑収益】 受取利息	4,436,131	4,436,131								
90	【雑収益】 受取利息	4,817,861	4,817,861								
91	【雑収益】 受取利息	286,881,996	247,310,679								
92	【雑収益】 受取利息	▲ 1,378,735	▲ 1,378,735								
93	【雑収益】 受取利息	381,730	381,730								
94	【雑収益】 受取利息	4,436,131	4,436,131								
95	【雑収益】 受取利息	4,817,861	4,817,861								
96	【雑収益】 受取利息	286,881,996	247,310,679								
97	【雑収益】 受取利息	▲ 1,378,735	▲ 1,378,735								
98	【雑収益】 受取利息	381,730	381,730								
99	【雑収益】 受取利息	4,436,131	4,436,131								
100	【雑収益】 受取利息	4,817,861	4,817,861								
101	【雑収益】 受取利息	286,881,996	247,310,679								
102	【雑収益】 受取利息	▲ 1,378,735	▲ 1,378,735								
103	【雑収益】 受取利息	381,730	381,730								
104	【雑収益】 受取利息	4,436,131	4,436,131								
105	【雑収益】 受取利息	4,817,861	4,817,861								
106	【雑収益】 受取利息	286,881,996	247,310,679								
107	【雑収益】 受取利息	▲ 1,378,735	▲ 1,378,735								
108	【雑収益】 受取利息	381,730	381,730								
109	【雑収益】 受取利息	4,436,131	4,436,131								
110	【雑収益】 受取利息	4,817,861	4,817,861								
111	【雑収益】 受取利息	286,881,996	247,310,679								
112	【雑収益】 受取利息	▲ 1,378,735	▲ 1,378,735								
113	【雑収益】 受取利息	381,730	381,730								
114	【雑収益】 受取利息	4,436,131	4,436,131								
115	【雑収益】 受取利息	4,817,861	4,817,861								
116	【雑収益】 受取利息	286,881,996	247,310,679								
117	【雑収益】 受取利息	▲ 1,378,735	▲ 1,378,735								
118	【雑収益】 受取利息	381,730	381,730								
119	【雑収益】 受取利息	4,436,131	4,436,131								
120	【雑収益】 受取利息	4,817,861	4,817,861								
121	【雑収益】 受取利息	286,881,996	247,310,679								
122	【雑収益】 受取利息	▲ 1,378,735	▲ 1,378,735								
123	【雑収益】 受取利息	381,730	381,730								
124	【雑収益】 受取利息	4,436,131	4,436,131								
125	【雑収益】 受取利息	4,817,861	4,817,861								
126	【雑収益】 受取利息	286,881,996	247,310,679								
127	【雑収益】 受取利息	▲ 1,378,735	▲ 1,378,735								
128	【雑収益】 受取利息	381,730	381,730								
129	【雑収益】 受取利息	4,436,131	4,436,131								
130	【雑収益】 受取利息	4,817,861	4,817,861								
131	【雑収益】 受取利息	286,881,996	247,310,679								
132	【雑収益】 受取利息	▲ 1,378,735	▲ 1,378,735								
133	【雑収益】 受取利息	381,730	381,730								
134	【雑収益】 受取利息	4,436,131	4,436,131								
135	【雑収益】 受取利息	4,817,861	4,817,861								
136	【雑収益】 受取利息	286,881,996	247,310,679								
137	【雑収益】 受取利息	▲ 1,378,735	▲ 1,378,735								
138	【雑収益】 受取利息	381,730	381,730								
139	【雑収益】 受取利息	4,436,131	4,436,131								
140	【雑収益】 受取利息	4,817,861	4,817,861								
141	【雑収益】 受取利息	286,881,996	247,310,679								
142	【雑収益】 受取利息	▲ 1,378,735	▲ 1,378,735								
143	【雑収益】 受取利息	381,730	381,730								
144	【雑収益】 受取利息	4,436,131	4,436,131								
145	【雑収益】 受取利息	4,817,861	4,817,861								
146	【雑収益】 受取利息	286,881,996	247,310,679								
147	【雑収益】 受取利息	▲ 1,378,735	▲ 1,378,735								
148	【雑収益】 受取利息	381,730	381,730								
149	【雑収益】 受取利息	4,436,131	4,436,13								